

# 豊橋市図書館の基本的な考え方

平成28年3月

豊橋市教育委員会



# 目次

趣旨	1
第1章 図書館を取り巻く状況	2
1 図書館を取り巻く環境の変化	2
(1) 国の施策の流れ	2
(2) 近年の出版業界の動向	2
(3) 図書館を取り巻く状況	3
2 本市図書館における取組みの成果と課題	4
第2章 めざす図書館像と基本方針	6
1 めざす図書館像	6
2 取組みにおける基本方針	7
第3章 めざす図書館像に向けた考え方	8
1 快適で利用しやすい図書館環境整備	8
2 多様化する市民ニーズへの対応	12
3 新たな図書館利用者の開拓	16
第4章 めざす図書館像実現のために	19
資料編	
中核市・愛知県内の図書館状況	21
市民ニーズの調査・分析	23
「豊橋市図書館協議会」協議経過	45
豊橋市図書館協議会委員名簿	46
用語説明	47

※本文中「※」のマークを付けた用語は、「用語説明」として掲載しています。





## 趣 旨

本市の図書館は、その 100 年を超える歴史をとおして「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する」という図書館としての役割を担ってきました。

平成 18 年 3 月に、目指すべき図書館像実現に向けての基本的な方向性を示した「豊橋市図書館整備構想」（以下「整備構想」）を策定しました。この整備構想に基づき、大清水図書館が平成 27 年 4 月に開館し、さらに、中心市街地の一層のにぎわいの創出を図るため、まちなか図書館（仮称）を整備することとなりました。

しかし、近年、高度情報化やグローバル化、少子高齢化それに伴う人口減少など、図書館を取りまく環境は大きく変化し、全国的な図書館利用者の減少が起こっています。こうした状況に対応するため、限られた財源の中で、多様化する価値観やライフスタイルに応じて、より一層柔軟で適切なサービスの提供や環境の整備に取り組まなくてはなりません。整備構想策定から 10 年が経過し、図書館の将来像を展望していくには、こうした課題をはじめ多くの問題を整理し、その実現に向けての基本的な考え方や方向性を明確にする必要があります。

過去を大切にしながら時代とともに歩み、時代の先を考える図書館であるため、整備構想の考え方を継承しつつも、新しい時代に対応した今後のめざす図書館像を示すとともに、新たな基本方針を定め、現行の整備構想を見直すにあたっての考え方を示します。



## 第1章

# 図書館を取り巻く状況

## 1 図書館を取り巻く環境の変化

### (1) 国の施策の流れ ●●●●●●●●

「国民読書年」とされた平成22年は、文部科学省に「国民の読書推進に関する協力者会議」が設置され、読書環境の現状分析や読書意識を高める取組みの検討が行われるなど、国を挙げて読書活動の推進に取り組む契機となりました。

また、平成22年6月の「地域主権戦略大綱」に基づき、平成23年には図書館法及び同法施行規則の改正が行われ、図書館運営においても地域主権の推進が図られました。

さらに、平成24年12月には図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改正され、地域の情報拠点として図書館が明記されるとともに、図書館の基本的運営方針や事業計画の策定・公表、図書館協議会を活用した関係者・第三者評価等について努力するよう示されました。

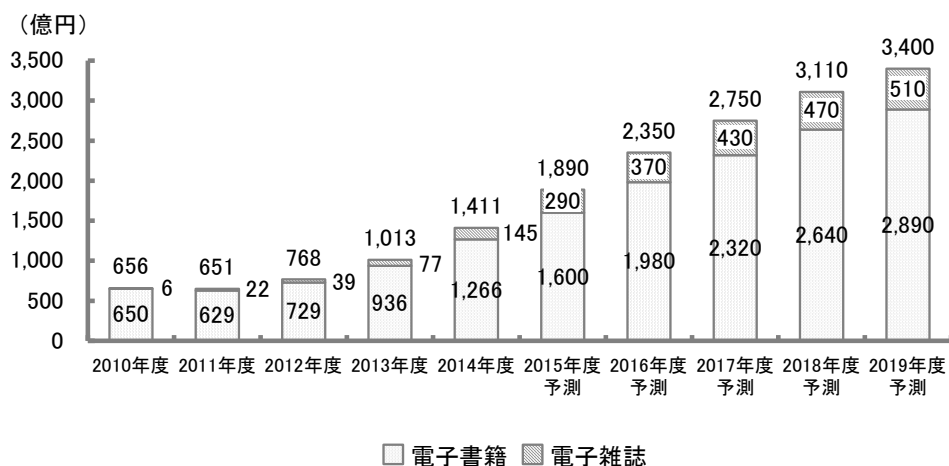
### (2) 近年の出版業界の動向 ●●●●●●●●

出版業界の動向を見ると、大ベストセラーが減少し、発行する書籍の種類は増えているのに、総発行部数は減少するようになり、書籍販売全体も減少している状況が続いています。近年では特に月刊誌や週刊誌など雑誌出版物の大幅な落ち込みが目立ちます。

一方、紙媒体の書籍・雑誌が縮小する中、コミックを中心に電子書籍は増加しており、数年後にはさらに規模が拡大すると予想されています。こうした流れを受け、出版各社はインターネットや映像との融合、デジタルメディア事業の強化、電子書籍事業の展開など、落ち込みの激しい出版事業の穴を埋めるべく、新たなビジネスモデル構築を模索している状況となっています。

また、このような状況を受け書店も減少の一途をたどっており、インターネット通販の浸透がそれに追い打ちをかけています。

電子書籍・電子雑誌の市場規模予測



### (3) 図書館を取り巻く状況 ●●●●●●●●

近年、急速な技術革新や規制緩和等により、多くの人々が新たな知識や技術を習得し、自己の能力を高めようとしており、個人の能力開発やキャリア形成、さらには地域活動支援など図書館の役割は多様化してきています。

また、インターネット等で情報が氾濫する中で、図書館には膨大な情報の中からの確かで信頼性の高い情報を提供する役割が求められています。そのためには、紙以外にも様々な媒体の情報を収集しなければなりません。

さらに、今後の少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口減少により、財政状況はますます厳しくなると予想され、限られた財源の中でより効果的なサービス提供を行うことが課題となっています。

このような状況の中で、図書館運営を民間に委託する自治体が増えてきました。中には利用者数を大きく伸ばした図書館もありますが、その功罪をめぐって大きな話題となり、図書館がニュースとなることが多くなっています。

## 2 本市図書館における取組みの成果と課題

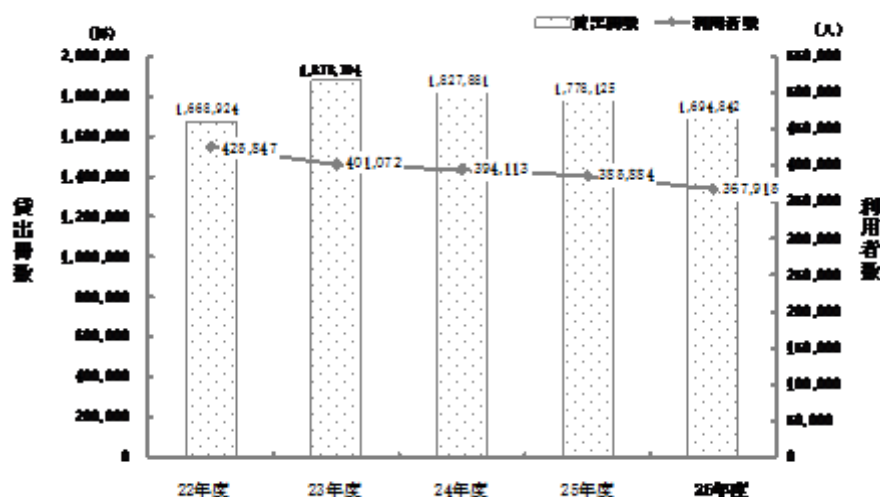
整備構想策定以来、図書館分室のうち拠点となる地区市民館（平成 27 年度現在 6 館）やこども未来館、アイプラザ豊橋を図書館システムで結び、予約や貸出、返却が自由に行える拠点を拡大してきました。

分館（地域図書館）整備においては、2 館目の分館となる大清水図書館を平成 27 年 4 月に開館しました。さらに、平成 31 年度の完成に向けてまちなか図書館（仮称）の整備に着手しました。

ソフト面では、貸出冊数の拡大（5 冊→10 冊）、インターネット予約や CD 貸出の開始、電子情報サービスの拡充などを図りました。また、平成 21 年度には学校図書館支援センター（現：授業・学習支援センター）が設置され、学校と連携して学校での読書活動支援にも取り組みました。

特に電子情報サービスとしては、電子情報コーナー及びデータベースコーナーに閲覧用パソコンを設置し、インターネットや新聞記事等データベースの閲覧をできるようにするとともに、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス\*を導入しました。さらに、電子辞書、タブレット端末といった電子機器の貸出を開始し、利用者サービスの向上を図りました。

しかし、本市の過去 5 年間の図書館利用実績を見てみると、利用者数は平成 22 年度、貸出冊数は平成 23 年度をピークに減少してきています。こうした状況は、本市だけでなく全国的な傾向となっています。その要因としては、人口減少だけでなく、余暇の過ごし方としての価値観やライフスタイルの多様化に対して図書館が応えきれていないことが考えられます。





## 豊橋市図書館整備構想における目標指標一覧

区 分	目 標 指 標	平成 16 年度 実績	目 標	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 見込
図書館サービスの 利用促進	市民 1 人当たりの蔵書冊数	2.3 冊	2.7 冊	2.5 冊	2.7 冊
	市民 1 人当たりの利用冊数	3.7 冊	5.9 冊	4.5 冊	4.8 冊
	図書資料の回転率	1.6 回	2.2 回	1.8 回	1.8 回
	図書館利用者数（入館者数）	58.3 万人	90 万人	63.9 万人	85 万人
	図書館利用満足度（中央と配本の利用者アンケート平均）	73%	86%以上	80%	81%
	羽田八幡宮文庫（和装本）書誌データ整備率	31%	—	100%	100%
拠点的地区市民館等の図書館機能の充実	拠点的地区市民館図書室整備数	3 館	9 館	9 館	9 館
	拠点的地区市民館等コンピュータネットワーク整備数	3 館	13 館	8 館	8 館
地域図書館の整備	地域図書館整備数（着手を含む）	1 館	2 館	2 館	2 館
市民ボランティアとの協働	図書館ボランティア登録人数	220 人	320 人	309 人	286 人
	地区市民館等ボランティア活動率	17%	100%	96%	96%
授業・学習支援センター	授業・学習支援センター利用率	0%	100%	100%	100%

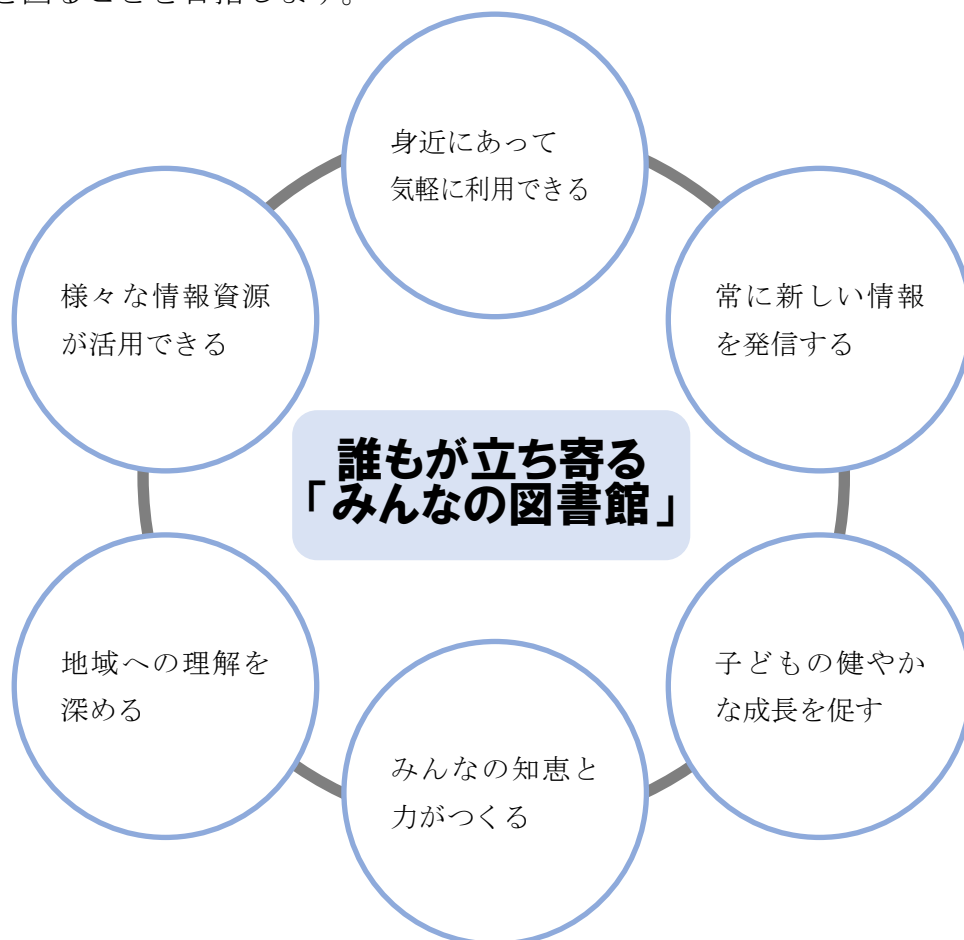
## 1 めざす図書館像

現行の整備構想を継承し、新しい時代に対応した今後の図書館像を示すため、本市がめざす図書館像について、次のとおり掲げます。

### めざす図書館像

#### 誰もが立ち寄る「みんなの図書館」

誰もが集い、活力や生きがいを育む「みんなの図書館」とするため、様々な情報や資料を収集・提供するとともに、市民の教養を高め、地域文化の向上を図ることを目指します。



## 2 取組みにおける基本方針

整備構想における利用者減少などの課題を踏まえ、次の3つの基本方針に基づき図書館サービスの提供に取り組みます。

### 基本方針

#### ○快適で利用しやすい図書館環境整備

市民が身近で気軽に図書館サービスを利用でき、また、ゆったりとくつろげる居心地の良い環境を提供します。

#### ○多様化する市民ニーズへの対応

紙と電子媒体による図書館サービスのハイブリッド化<sup>※</sup>を推進し、ICT<sup>※</sup>を活用した新たなサービスを展開して多様化する市民ニーズに対応します。

#### ○新たな図書館利用者の開拓

図書館をあまり利用したことのない人が来館するきっかけとなる魅力的なイベントやサービスによる新たな図書館利用者を増やします。

## 1 快適で利用しやすい図書館環境整備

図書館は、最も身近な知の拠点として、市民ニーズに応じた情報を提供する場であると同時に、近年では、気軽に集まることができるコミュニケーションの場としての機能が求められています。親子連れや若者等が、他の利用者に気兼ねなく談話したり、飲食できるようスペースや設備を工夫し、これまで図書館の敷居が高いと感じていた人々にも利用してもらえるような環境を整えていかなければなりません。

また、高齢化社会を迎え高齢者の利用増加が見込まれる中、ゆっくり過ごせる滞在型の図書館利用がますます増えると考えられます。さらに、障害者差別解消法<sup>\*</sup>に対応した障害者サービスが求められるため、館内施設・設備への配慮も必要となります。

こうしたことから、開館日時等市民ニーズに対応した柔軟で適切なサービスを提供するとともに、ゆったりとくつろげる居心地の良い空間を提供し、子どもから大人まで誰もが来たくくなるような、身近にあって気軽に利用でき親しまれる図書館を目指します。



## それぞれの図書館の役割

### 中央図書館

中央図書館は、特色のある9つの文庫があり、郷土資料の収集・保存を行うための45万冊の閉架書架を備えています。資料展やイベントを行うためのスペースも完備しています。また、図書の発注・受入れ等の蔵書管理や図書館システムの管理、他市図書館等の連携や職員研修を行うなど、基幹図書館としての役割を担っています。

### 図書館分館

図書館分館は、中央図書館の機能を補完するとともに、それぞれの分館が特色を出して市民ニーズに対応しています。

#### 【向山図書館】

74の分室の本を管理するための書架を有し分室への配本の拠点と言う役割を担っています。閲覧スペースには気軽に利用できる児童書と小説などを中心に揃えています。

#### 【大清水図書館】

地区市民館と窓口センターとの複合施設として開館し、地域における生涯学習の拠点としての役割を担っています。複合施設のメリットを活かして長い開館時間と図書館が開館していなくても利用できる雑誌・新聞の閲覧スペースを備えています。蔵書については実用書を多く取り揃え、テーマ別に並べるなど、利用しやすい環境を整えています。

#### 【まちなか図書館（仮称）】

従来の図書館の枠を越えた交流の拠点とし、商業施設や他の公共施設と連携することで、中心市街地の賑わいの創出に寄与するとともに、新たな利用者呼び込むことができる新しいスタイルの図書館を具現化します。

### 図書館分室

図書館分室は、市民館など74の施設にあり、市内全域に図書館サービスを提供しています。特に図書館システムで結ばれた8つのネットワーク館では、図書館全体の資料の貸出・返却・検索ができ図書館分館の機能を補完しています。

## (1) 中央図書館 ●●●●●●●●

中央図書館は、開館より 30 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

現在、利用者の目的に合わせた各コーナーの設置など、利用しやすい工夫をして施設の充実を図っていますが、施設の狭隘化が進む中、閉架書庫の収容能力は限界にきており、開架書架についても、面出し展示など見やすい配架がしづらい状況が続いています。また、閲覧スペースも少なく、限られたスペースの中で、この 2 つの課題を解決していかなければなりません。

今後は、長寿命化のための改修・整備を行い充実を図るとともに、魅力アップのためのサービス機能追加やくつろぎの空間づくり等により、施設の有効活用を図っていきます。また、公開を前提とした行政資料の収集・保存・公開等、公文書館的役割も新たに担っていきます。

### 図書館の現状

区分	蔵書冊数	開架冊数	図書館分館・分室状況		貸出状況	
			分館数	分室数	貸出冊数	市民 1 人当たりの貸出冊数
豊橋市	922 千冊	372 千冊	2 館	74 室	1,765 千冊	4.6 冊
県内の平均	486 千冊	252 千冊	3 館	9 室	1,124 千冊	6.6 冊
中核市の平均	949 千冊	538 千冊	5 館	15 室	1,999 千冊	4.9 冊

## (2) 図書館分館 ●●●●●●●●

本市には、向山図書館、大清水図書館の 2 つの分館があり、さらに、駅前大通二丁目の再開発ビルの中にまちなか図書館（仮称）の整備を進めています。

向山図書館では、限られたスペースを有効活用して、より良い読書空間の提供に取り組みます。

大清水図書館では、図書館の本を活用した生涯学習講座の開催など複合施設のメリットを活かした取組みの充実や、くすのき特別支援学校と連携した障害者の支援に取り組みます。

平成 31 年度開館予定のまちなか図書館（仮称）は、東三河地域の玄関でもある豊橋駅に近いという立地条件を活かし、通勤・通学者や買い物客等はもちろん、

市内外から多様な人々に来館してもらい、世界を広げ、まちづくりにつなげる知と交流の創造拠点として、魅力ある図書館を目指していきます。

今後の分館全体のあり方については、まちなか図書館（仮称）やネットワーク館の利用状況、向山図書館の老朽化や駐車場などの問題も含めて対応を検討していく必要があります。

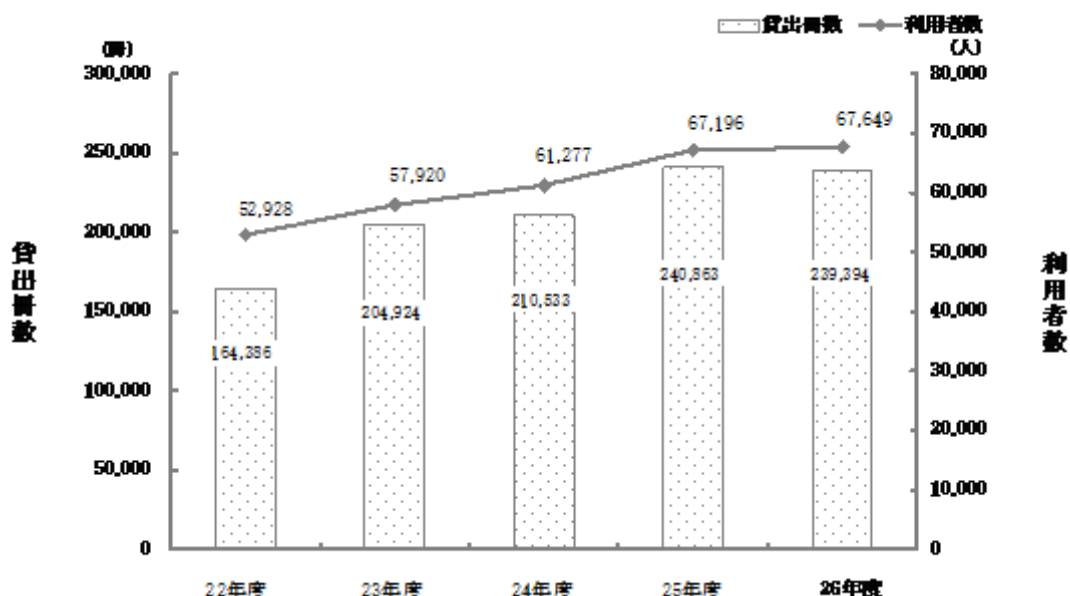
### （3）図書館分室 ●●●●●●●●

本市には、74 か所に図書館分室を設置しています。これだけ多くの図書館分室を持っていることは全国的にも珍しく、本市の大きな特色となっています。

平成 17 年以降、図書館システムのネットワーク化を拡大することにより、石巻・二川・北部・南部・青陵・牟呂の各地区市民館及びこども未来館・アイプラザ豊橋と合わせて合計 8 つの図書館分室（ネットワーク館）で図書館全体の図書資料の貸出・返却・検索ができるようにしたため、ネットワーク館の利用者が大幅に増加しました。

広範な市域で充実した図書館サービスを展開するため、今後は、地域の人口状況や利用状況に応じて、図書館システムのネットワークを拡大していきます。また、校区市民館の分室については、館ごとに蔵書の特色を持たせるなど、地域の要望に合わせたあり方を検討していきます。

ネットワーク館利用状況



## 2 多様化する市民ニーズへの対応

図書館は、個人や地域が直面している様々な課題について、情報資源の提供により、解決を支援していくことが重要な役割として求められてきています。そのために、膨大な情報の中から信頼性の高い情報を的確に提供することが重要なポイントとなります。また、情報格差の解消のため、年齢や障害の有無、国籍を問わず、誰もが必要な情報資源にアクセスできる情報拠点としての役割も大きくなっています。

市民が様々な情報資源を活用でき生活に役立つ図書館となるため、サービスや設備の構築を目指します。

### (1) ICTを活用した新たなサービスの導入 ●●●●●●●●

便利さ、手軽さから若者を中心に利用者が増えてきている電子書籍は、高齢者・障害者が利用する場合のメリットも多く、忙しくて図書館に来られない市民への貸出サービスに対しても効果が期待できることから、図書館でも今後積極的に提供していく必要があります。さらに、貴重な地域情報資源のデジタルアーカイブ<sup>※</sup>など段階的に電子情報化への対応を進めていくとともに、音声図書等の障害者向けサービスを充実します。

図書館システムに関しては、今後の広域的な利用を見据え、マイナンバー制度を利用した貸出券の共通化や、東三河広域でのシステム統一も検討していく必要があります。また、ICタグを活用した自動貸出機等の効果的な機械化・自動化により、貸出処理の迅速化・プライバシーの確保など、利用者サービスの向上と運営の効率化を図ります。

今後は、新しい形態による情報資源の提供について検討を進め、紙と電子媒体による図書館サービスのハイブリッド化を推進していくとともに、ICTを活用したサービスの展開を目指していきます。



## (2) 課題解決支援の充実 ●●●●●●●●

図書館は図書資料の貸出だけでなく、利用者の課題解決を支援するレファレンスサービス\*も重要です。利用者の様々な課題を解決するため、レファレンス記録のデータベース化により、事例集をホームページ上で公開するなど、レファレンスサービスの充実を図ってきました。

今後は、多様化する課題を解決するために、利用者の要望に応じ、専門機関や専門家へ問い合わせたり、専門家による講演会の開催などにも取り組んでいく必要があります。さらに、利用者の課題を解決するためのツールとして、様々な分野のデータベースの導入にも取り組みます。

また、図書館が課題解決の支援をする場所であることを市民へ積極的に周知することにより、図書館を有効活用してもらえよう努めます。

## (3) 関係機関との相互連携 ●●●●●●●●

本市図書館は、市内の3つの大学図書館と相互貸借協定を締結しています。大学の図書館には専門図書が豊富にあり、特に専門的な研究や調査を必要とする人にとってはとても有効です。大学図書館との連携を深め、そのことを積極的にPRしていく必要があります。また、大学図書館だけでなく、国立国会図書館をはじめとする、全国の図書館と連携して、図書館サービスの充実を図っていきます。

## (4) 郷土資料の収集・保存 ●●●●●●●●

図書館は、地域の人々が郷土の歴史や自分たちの暮らしについて考え、学ぶ場でもあります。郷土資料の収集や紹介は、地域に密着した図書館だからこそ可能であり、行政資料・刊行物、地域に関して書かれた出版物などは、市民がその地域の歴史や現状を知り、地域への理解を深めるうえで欠かせない情報資源です。

郷土資料は、図書館を大きく特色づけるものの一つで、その地域の図書館が収集・保存していかなければ散逸してしまう可能性が大きいいため、地域情報を発信している人々と協働し積極的・継続的に収集・保存していく必要があります。さらに、地域風景や観光情報、伝統文化など、無形の地域資料を映像化し提供するために、デジタルアーカイブの整備に取り組む必要があります。

本市図書館には、母体である「羽田八幡宮文庫」をはじめとする約3万冊の和装本など、郷土資料が多く所蔵されています。これら郷土資料は、県内で唯一の資料も多く、大切に保存する必要があります。また、未登録和装本の整理や、資料の電子情報化を進めるとともに、引き続き郷土資料の収集・保存し、市民が地域への理解を深められるよう努めていきます。



豊富な郷土資料

### 中央図書館個人文庫の概要

文庫名 《個人名》	蔵書冊数	特徴
羽田八幡宮文庫 《羽田野 敬雄》 はだの たかお	9,500 冊	神道や国学に関する資料が多く、その他農業・医学・天文・語学・異国情報等多岐、広範囲にわたる。『解体新書』『蘭学階梯』等貴重なものをはじめ、郷土関係では、『栄樹園聞見類集』等の敬雄の著作や日記『萬歳書留控』も含まれる。
司文庫 《司 忠》 つかさ ただし	34,000 冊	豊橋出身で、洋書の丸善相談役の忠が豊橋市へ寄贈した資金を受けて、開設した文庫。収集の主なものは、世界各国の絵本と教科書、各種図鑑類、美術書、世界の古典。現在は逝去後寄附された資金により設置された司文庫基金の利子をもとに、図書の収集を図っている。
橋良文庫 《近藤 恒次》 こんどう つねじ	3,700 冊	文学博士、郷土史研究者であった恒次が収集・所蔵していた図書で構成された文庫。渡辺崋山、小栗風葉、菅江真澄関係資料のほか、漂流記に関する資料も充実。
瓦北文庫 《豊田 珍比古》 とよだ うずひこ	980 冊	珍比古没後、遺族から寄贈を受けて文庫を設立。日本史及び郷土史に関する図書が大部分で、『大日本地誌大系』等の一般図書、自著である『三河百話』等郷土史関係図書や和装本等で構成。
安井文庫 《安井 廣》 やすい ひろし	4,700 冊	地域医療に従事するかたわら医学史・洋学・郷土史の研究を行い、収集・所蔵していた医学史関係の図書が中心。主なものに『図説日本医事文化史料集成』『ベルツの生涯・近代医学導入の父』等。
岩瀬正雄現代詩文庫 《岩瀬 正雄》 いわせ まさお	4,500 冊	日本現代詩人会名誉会員、豊橋市出身の詩人正雄が収集・所蔵した図書等により開設。著名な詩人の詩集から中部地方を中心に全国の詩人の自費出版による詩集、全国の詩誌、郷土芸誌等の雑誌類。
良寛文庫 《白井 保》 しらい たもつ	370 点	良寛に関する図書・墨跡（複製）・拓本類を収集した保没後、遺族からの寄贈を受けて文庫を設立。『良寛全集』をはじめとする図書及び研究所・墨跡（複製）・拓本類により構成。
丸山薫文庫 《丸山 薫》 まるやま かおる	3,900 冊	桑原武夫、三好達治、梶井基次郎、堀辰雄等と親交が深く、現代詩史に大きく貢献した薫の没後、寄贈された薫の蔵書と薫の業績を顕彰するため制定された「丸山薫賞」公募作品からなる文庫。
横田文庫 《横田 正吾》 よこた しょうご	1,200 冊	菅江真澄の研究において、従来詳らかでなかった豊橋市出生説の確立に尽力した正吾の著作『あが父母の国吉田・菅江真澄』等を含む、真澄研究のため収集した真澄の著作をはじめ、真澄や民俗学に関する図書、三河および東北の地方史誌を中心とした図書から構成。

資料：豊橋市図書館 100 周年記念誌「豊橋市図書館 100 年のあゆみ」より

### 3 新たな図書館利用者の開拓

図書館は、常に新しい情報を発信し、様々な取組みを実施することにより、より多くの人々に図書館を利用してもらう必要があります。

情報化社会の進展により、SNS等の新たな情報ツールが続々と登場しており、その伝達の速さと双方向性によって、またたく間に利用者が広がりました。図書館では、ブログやツイッター等のツールを使って情報発信をしてきましたが、今後も新たな情報ツールを積極的に取り入れ、情報発信に努めていきます。

また、図書館は、市民の知的要求に応え、情報資源を提供するという図書館本来の使命を果たすとともに、図書館に集まる人が交流し、ふれあいや心のつながりを大切にできる地域の交流拠点としての役割が重視されるようになってきました。

知の拠点としてだけでなく、あらゆる世代にとって魅力的なイベントや講座等を開催するとともに、地域の魅力を広く発信し、それにより市民が多様な価値観と出会い、人と人・人と情報をつなぎ、まちの文化を創り出す地域の交流拠点となることを目指します。

#### (1) 魅力的な行事・企画展の実施 ●●●●●●●●

本市図書館では、司文庫展、平和展、三遠南信地域資料展などの資料展の回数を増やすとともに、博物館等他の施設と連携したイベントや講座も開催することで企画展の魅力アップを図ってきました。

これからも、多くの人々を引きつけられる特色ある企画展、地域の人材を活かした講演会・講座、他市町村や博物館等と連携したイベントを実施していきます。また、効果的な広報活動により市民への周知を図ります。



三遠南信地域資料展記念イベント  
「ご当地キャラクター誕生のひみつ」

## (2) 市民参加による読書活動の推進 ●●●●●●●●

市民参加による読書活動として、読書サークル活動があります。この活動を支援するため、研修会や合同読書会を開催するとともに飯田市の読書サークルと交流も行ってきました。

今後は、読書サークル活動だけでなく、ビブリオバトルなど、様々な世代の市民が参加できる、新たな読書活動推進のための取組みを実施していきます。

### 知<sup>★</sup>的書評合戦 **ビブリオバトル**

発表者が本を紹介し、その中で一番読みたくなった本を投票して決定する、スポーツのような書評会です。

【公式ルール】

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。



## (3) ボランティアとの協働 ●●●●●●●●

図書館は、ボランティア活動や体験活動をとおして、多くの人々に図書館を知ってもらおうように努め、そうした人々と意見交換を行うことで、運営や活動推進に活かすように取り組んできました。

特に、ボランティアによる読み聞かせ活動は活発に行われていますが、市民からの読み聞かせの要望が多いため、ボランティアの育成や研修に努めています。

ボランティア活動の場を充実することで新たな利用者の開拓をするとともに、アクティブシニアなど新たに社会貢献活動を行いたい人々にも活躍の場を提供し、市民と協働で図書館サービスに取り組んでいきます。

#### (4) 子どもの読書活動推進 ●●●●●●●

読書は、子どもの健やかな成長を促します。子どもは、読書を通じて今までとは違った広い世界を知り、自分なりの考えを持つことで、視野を広げ自分の考えや判断力を培います。

近年、子どもや若者を中心とした読書離れが深刻な問題となっています。自己判断・自己責任が求められる現代の社会において、子どもの豊かな感性や想像力を磨き、考える力を養う読書活動の重要性が再認識されています。豊かな言葉によるコミュニケーション能力や生きる力を育むためにも、子どもの頃から読書習慣を形成できるように読書環境を整備していくことが大切であり、家庭や地域も巻き込んだ図書館の利用促進や学校等との連携が一層求められてきています。

本市では、子どもの読書活動の推進に向けた取組みに重点を置き、初めての絵本との出会い事業や、読み聞かせ、学校図書館との連携のため「図書館へ行こう!」、「郷土を探る! 豊橋っ子調べ学習コンクール」の開催等を実施し、子どもが本に親しみ、興味を持つきっかけをつくるよう努めました。また、授業・学習支援センター\*と連携し、図書を使った学習活動の支援を行いました。

子どもが本の楽しさや、新たな知識を得る喜びを生み出す機会をつくることが、生涯にわたる図書館利用の基礎となります。今後も引き続き、子どもの年齢やニーズに応じた魅力ある児童図書を揃えていきます。また、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書通帳の導入や子どもが読書に親しむことができる行事の開催など保護者が子どもを連れて来館できる雰囲気づくりに努めていきます。



図書館へ行こう!

めざす図書館像実現のために、市民がより積極的・自主的に図書館活動に参画し、みんなの知恵と力を結集して活力ある図書館づくりを進めていくことが必要です。

このため、学校やボランティアなど様々な人や組織と協働で図書館サービスに取り組んでいくとともに、関連部署との連携や専門家を招いての研修等を実施し、常に利用者の視点と問題意識を持った職員の養成に努めます。

ここで示す基本的な考え方を効果的かつ確実に推進していくためには、進捗状況について点検を行う必要があります。このため次の目標指標・目標値を設定し進捗状況を毎年検証していきます。

図書館サービス計画目標値一覧

目標指標	平成 26 年度 実績	平成 32 年度 目標
図書館入館者数	63.9 万人	110 万人
図書館ネットワーク館の利用者数	67,649 人	75,000 人
提供可能な電子媒体資料数	200 点	12,500 点
未登録和装本の登録冊数	0 冊	1,000 冊
図書館新規登録者数	4,331 人	9,000 人
資料展等への参加者数	13,888 人	20,000 人





# 資 料 編



## 中核市の図書館状況

※1 平成27年4月1日現在の中核市45市を対象。

※2 各種データは、日本図書館協会発行「日本の図書館統計と名簿 2014(平成26年3月31日現在)」の数値による。

### ◆ 図書館の現状（人口順）

整理番号	都市名	人口 (千人)	面積 (km <sup>2</sup> )	中央館 施設面積 (m <sup>2</sup> )	地域図書 館数 (館)	図書館 分室数 (室)	施設合計 館数 (館)	蔵書冊数 (千冊)	開架状況		貸出状況		
									開架冊数 (千冊)	開架率 (%)	貸出冊数 (千冊)	市民1人当 たりの貸出冊 数 (冊)	蔵書回転率 (回)
1	船橋市	616	85.62	3,927.00	3	8	4	1,425	536	37.6	2,527	4.1	1.8
2	鹿児島市	608	547.57	5,146.00	0	12	1	903	532	58.9	1,911	3.1	2.1
3	八王子市	563	186.38	5,581.00	3	1	4	1,623	623	38.4	2,806	5.0	1.7
4	姫路市	544	534.33	2,882.00	14	1	15	1,282	873	68.1	2,517	4.6	2.0
5	宇都宮市	517	416.85	4,739.00	4	17	5	1,504	817	54.3	4,448	8.6	3.0
6	松山市	517	429.37	5,617.00	3	0	4	704	354	50.3	1,779	3.4	2.5
7	東大阪市	502	61.78	2,302.00	3	2	4	666	268	40.2	1,938	3.9	2.9
8	倉敷市	483	355.63	4,868.00	5	26	6	1,314	832	63.3	2,823	5.8	2.1
9	西宮市	481	99.96	4,682.00	3	7	4	1,023	752	73.5	3,581	7.4	3.5
10	大分市	477	502.39	4,548.00	1	48	2	680	528	77.6	837	1.8	1.2
11	福山市	472	518.05	4,813.00	6	1	7	1,062	723	68.1	3,213	6.8	3.0
12	尼崎市	468	50.72	4,728.00	1	22	2	730	343	47.0	1,397	3.0	1.9
13	金沢市	450	468.64	6,340.00	5	0	6	1,409	-	-	2,698	6.0	1.9
14	長崎市	440	405.81	11,659.00	1	55	2	1,080	902	83.5	2,086	4.7	1.9
15	高松市	428	375.41	8,718.00	4	46	5	1,228	473	38.5	1,612	3.8	1.3
16	横須賀市	422	100.83	4,033.00	3	10	4	829	397	47.9	1,567	3.7	1.9
17	豊田市	422	918.32	12,567.00	0	31	1	1,724	473	27.4	3,655	8.7	2.1
18	富山市	421	1,241.77	5,174.00	25	0	26	991	604	60.9	1,882	4.5	1.9
19	岐阜市	417	203.60	1,966.00	6	6	7	537	537	100.0	1,312	3.1	2.4
20	枚方市	409	65.12	9,302.00	7	11	8	1,256	900	71.7	3,738	9.1	3.0
21	宮崎市	404	643.67	6,409.00	1	2	2	591	346	58.5	930	2.3	1.6
22	柏市	402	114.74	2,005.00	17	0	18	907	719	79.3	2,178	5.4	2.4
23	豊中市	397	36.39	3,272.00	8	2	9	1,046	846	80.9	3,352	8.4	3.2
24	長野市	386	834.81	4,959.00	1	28	2	955	366	38.3	1,583	4.1	1.7
25	豊橋市	380	261.86	5,655.00	1	74	2	922	372	40.3	1,765	4.6	1.9
26	和歌山市	380	208.84	7,289.00	0	0	1	440	149	33.9	692	1.8	1.6
27	岡崎市	378	387.20	7,895.00	1	8	2	892	585	65.6	2,450	6.5	2.7
28	高崎市	375	459.16	5,983.00	5	2	6	1,007	666	66.1	2,369	6.3	2.4
29	奈良市	365	276.94	2,666.00	2	0	3	639	415	64.9	1,226	3.4	1.9
30	高槻市	356	105.29	2,966.00	4	2	5	1,524	671	44.0	2,999	8.4	2.0
31	加川市	349	747.66	6,203.00	4	11	5	1,218	516	42.4	2,333	6.7	1.9
32	川越市	347	109.13	5,931.00	3	1	4	789	414	52.5	1,816	5.2	2.3
33	大津市	342	464.51	3,350.00	2	1	3	792	388	49.0	1,692	4.9	2.1
34	前橋市	341	311.59	4,765.00	15	11	16	934	762	81.6	2,063	6.0	2.2
35	高知市	338	308.99	3,466.00	6	15	7	949	581	61.2	1,554	4.6	1.6
36	いわき市	337	1,232.02	8,602.00	5	0	6	713	509	71.4	1,569	4.7	2.2
37	越谷市	330	60.24	3,235.00	0	3	1	587	301	51.3	1,754	5.3	3.0
38	郡山市	325	757.20	5,888.00	11	38	12	821	554	67.5	1,160	3.6	1.4
39	秋田市	321	906.09	4,806.00	4	2	5	602	328	54.5	747	2.3	1.2
40	那覇市	321	39.57	671.00	6	0	7	616	454	73.7	1,058	3.3	1.7
41	久留米市	305	229.96	4,320.00	5	0	6	745	550	73.8	1,602	5.3	2.2
42	青森市	299	824.61	7,374.00	0	12	1	900	475	52.8	997	3.3	1.1
43	盛岡市	294	886.47	1,912.00	2	4	3	635	382	60.2	713	2.4	1.1
44	下関市	279	715.89	4,531.00	5	2	6	673	461	68.5	1,550	5.6	2.3
45	函館市	275	677.83	7,687.00	0	6	1	830	-	-	1,497	5.4	1.8
	平均	406	425.97	5,231.8	5	15	6	949	541	59.1	1,999	4.9	2.1

## 愛知県内の図書館状況

※1 平成27年4月1日現在の県内38市を対象。

※2 各種データは、日本図書館協会発行 日本の図書館統計と名簿 2014(平成26年3月31日現在)の数値による。

### ◆ 図書館の現状 (人口順)

整理番号	都市名	人口 (千人)	面積 (km <sup>2</sup> )	中央館 施設面積 (m <sup>2</sup> )	地域図書館数 (館)	図書館 分室数 (室)	施設合計 館数 (館)	蔵書冊数 (千冊)	開架状況		貸出状況		
									開架冊数 (千冊)	開架率 (%)	貸出冊数 (千冊)	市民1人当たりの 貸出冊数 (冊)	蔵書回転率 (回)
1	名古屋市	2,248	326.44	11,286	20	1	21	3,240	2,196	67.8	10,837	4.8	3.3
2	豊田市	422	918.32	12,567	0	31	1	1,724	473	27.4	3,655	8.7	2.1
3	一宮市	386	113.82	6,702	4	1	5	959	-	-	3,030	7.8	3.2
4	豊橋市	380	261.86	5,655	1	74	2	922	372	40.3	1,765	4.6	1.9
5	岡崎市	378	387.20	7,895	1	8	2	892	585	65.6	2,450	6.5	2.7
6	豊川市	185	161.14	5,773	4	4	5	610	393	64.4	1,228	6.6	2.0
7	安城市	183	86.05	3,945	0	10	1	639	342	53.5	1,828	10.0	2.9
8	西尾市	170	161.22	2,722	3	12	4	695	301	43.3	931	5.5	1.3
9	小牧市	153	62.81	2,224	3	1	4	518	314	60.6	987	6.5	1.9
10	刈谷市	147	50.39	5,509	2	4	3	845	334	39.5	1,071	7.3	1.3
11	稲沢市	138	79.35	4,968	2	7	3	596	-	-	1,559	11.3	2.6
12	瀬戸市	132	111.40	1,412	0	6	1	305	120	39.3	642	4.9	2.1
13	半田市	119	47.42	2,704	1	5	2	476	215	45.2	1,083	9.1	2.3
14	春日井市	111	92.78	2,632	0	0	1	304	140	46.1	855	7.7	2.8
15	東海市	111	43.43	2,411	0	0	1	287	159	55.4	788	7.1	2.7
16	江南市	102	30.20	962	0	0	1	117	93	79.5	402	3.9	3.4
17	大府市	88	33.66	10	0	10	1	272	170	62.5	503	5.7	1.8
18	あま市	88	27.49	754	0	0	1	111	75	67.6	197	2.2	1.8
19	知多市	86	45.90	3,229	0	3	1	325	218	67.1	598	7.0	1.8
20	日進市	85	34.91	6,102	0	0	1	330	186	56.4	1,156	13.6	3.5
21	北名古屋市	83	18.37	3,022	1	0	2	274	147	53.6	595	7.2	2.2
22	蒲郡市	82	56.89	1,986	0	7	1	268	116	43.3	421	5.1	1.6
23	尾張旭市	82	21.03	1,393	0	0	1	195	107	54.9	631	7.7	3.2
24	大山市	75	74.90	4,962	0	2	1	240	159	66.3	466	6.2	1.9
25	碧南市	72	37.17	4,327	2	7	3	525	277	52.8	610	8.5	1.2
26	知立市	71	16.31	2,477	0	0	1	213	103	48.4	360	5.1	1.7
27	豊明市	68	23.22	2,923	0	2	1	262	121	46.2	424	6.2	1.6
28	津島市	66	25.09	5,900	0	2	1	269	148	55.0	432	6.5	1.6
29	愛西市	66	66.70	2,012	2	0	3	198	154	77.8	282	4.3	1.4
30	清須市	66	17.35	3,049	0	3	1	117	95	81.2	198	3.0	1.7
31	田原市	65	191.12	3,972	2	0	3	434	339	78.1	774	11.9	1.8
32	みよし市	59	32.19	879	0	0	1	154	97	63.0	354	6.0	2.3
33	常滑市	57	55.89	1,447	0	2	1	212	91	42.9	382	6.7	1.8
34	長久手市	52	21.55	4,201	0	0	1	211	85	40.3	438	8.4	2.1
35	新城市	50	499.23	2,021	0	0	1	156	56	35.9	183	3.7	1.2
36	岩倉市	48	10.47	2,588	0	0	1	174	-	-	270	5.6	1.6
37	高浜市	46	13.11	1,105	0	2	1	209	88	42.1	172	3.7	0.8
38	弥富市	45	48.99	1,978	0	1	1	178	79	44.4	141	3.1	0.8
	平均	181	113.30	3676.4	3	9	2	486	256	54.5	1,124	6.6	2.1

# 市民ニーズの調査・分析

## 1 アンケート調査の概要

図書館基本構想を策定するにあたり、市民の期待する図書館像及びニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

### ア 市民アンケート

調査対象：市内在住の15歳（高校生）から75歳の男女  
調査方法：無作為抽出により郵送配布  
調査期間：平成27年4月22日～5月20日  
総配布数：2,000票  
有効回答数：544票（27.2%）

### イ 図書館利用者アンケート

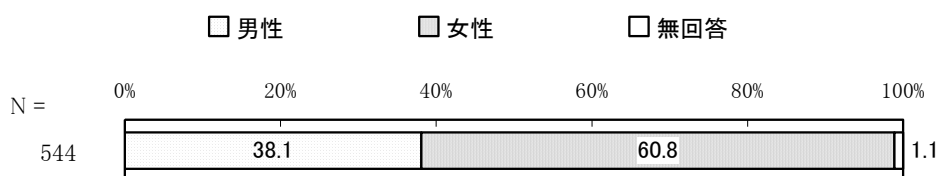
対象：中央図書館・向山図書館・大清水図書館の利用者  
調査方法：窓口配布  
調査期間：平成27年6月  
有効回答数：1,044票

## 2 市民アンケート調査結果

### (1) あなたご自身のことについて（平成 27 年 4 月 1 日現在）

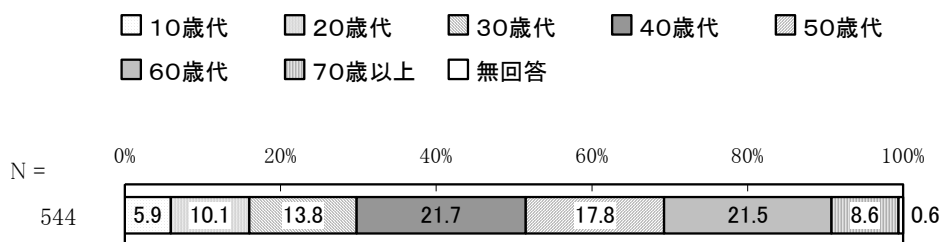
#### 問 1. あなたの性別は？

「男性」の割合が 38.1%、「女性」の割合が 60.8%となっています。



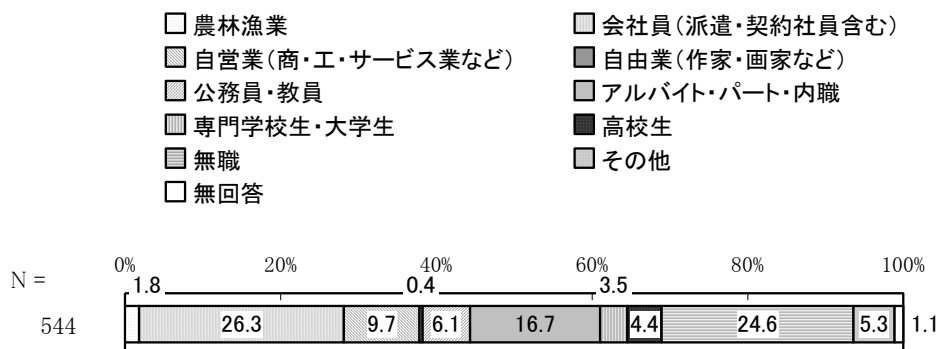
#### 問 2. あなたの年齢は？

「40歳代」の割合が 21.7%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が 21.5%、「50歳代」の割合が 17.8%となっています。



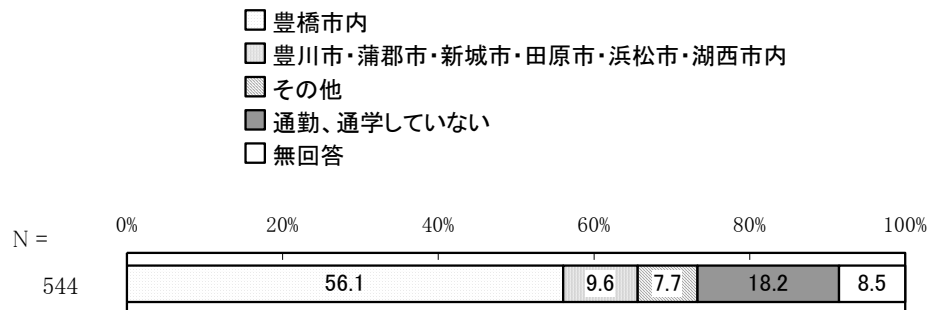
#### 問 3. あなたの職業などは？

「会社員（派遣・契約社員含む）」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が 24.6%、「アルバイト・パート・内職」の割合が 16.7%となっています。



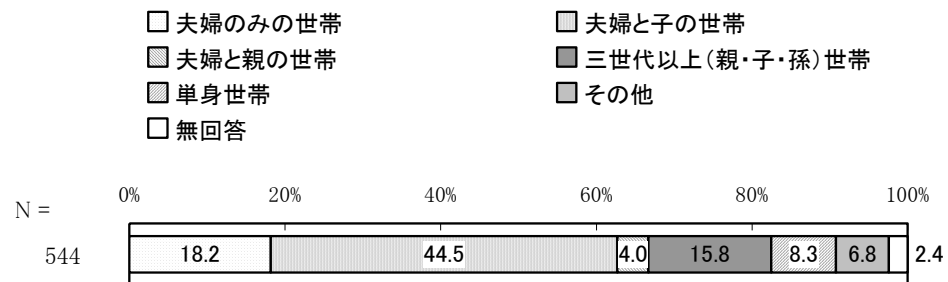
#### 問4. あなたの勤務先（就学地）は？

「豊橋市内」の割合が56.1%と最も高く、次いで「通勤、通学していない」の割合が18.2%となっています。



#### 問5 あなたの家族構成は？

「夫婦と子の世帯」の割合が44.5%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が18.2%、「三世代以上（親・子・孫）世帯」の割合が15.8%となっています。



問6. あなたのお住まいの小学校区と町名は？（校区不明の場合は町名のみ）

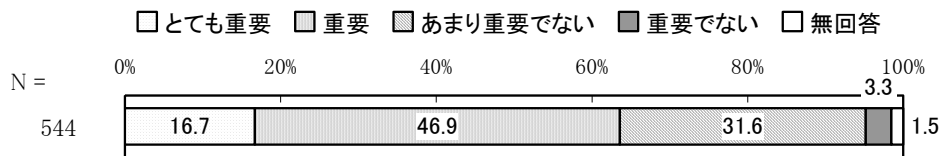
単位：上段：人数、下段：%

全 体	岩田	豊	東田	八町	松葉	花田	松山	新川	羽根井	下地	大村	津田	牟呂
544	19	12	17	5	8	7	10	6	17	6	5	5	12
100.0	3.5	2.2	3.1	0.9	1.5	1.3	1.8	1.1	3.1	1.1	0.9	0.9	2.2
汐田	吉田方	高師	幸	芦原	福岡	中野	磯辺	大崎	野依	植田	牛川	鷹丘	下条
13	24	19	29	8	21	15	18	4	13	4	11	19	5
2.4	4.4	3.5	5.3	1.5	3.9	2.8	3.3	0.7	2.4	0.7	2.0	3.5	0.9
多米	岩西	飯村	つつじが丘	旭	栄	天伯	大清水	富士見	向山	前芝	西郷	玉川	嵩山
12	10	17	12	2	24	4	8	19	9	6	3	3	5
2.2	1.8	3.1	2.2	0.4	4.4	0.7	1.5	3.5	1.7	1.1	0.6	0.6	0.9
石巻	谷川	小沢	細谷	二川	二川南	豊南	高根	老津	杉山	賀茂	無回答		
1	4	5	6	12	14	2	1	5	4	5	19		
0.2	0.7	0.9	1.1	2.2	2.6	0.4	0.2	0.9	0.7	0.9	3.5		



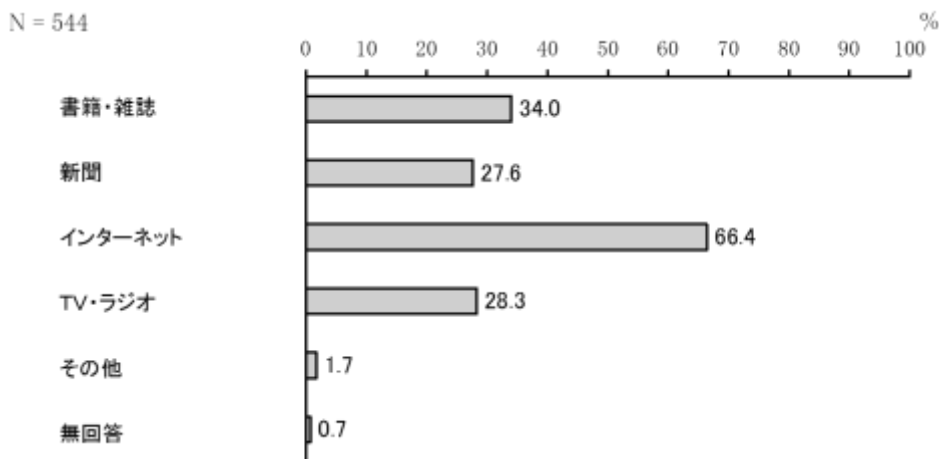
**問7. 読書・調べ物はあなたのライフスタイルの中でどの位置づけですか？**

「重要」の割合が46.9%と最も高く、次いで「あまり重要でない」の割合が31.6%、「とても重要」の割合が16.7%となっています。



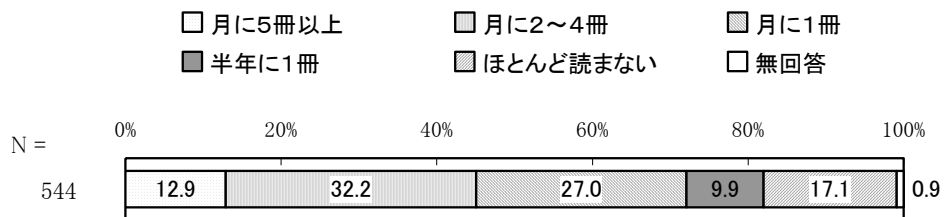
**問8. あなたの知りたい情報や知識をどのような方法で得ていますか？**

「インターネット」の割合が66.4%と最も高く、次いで「書籍・雑誌」の割合が34.0%、「TV・ラジオ」の割合が28.3%となっています。



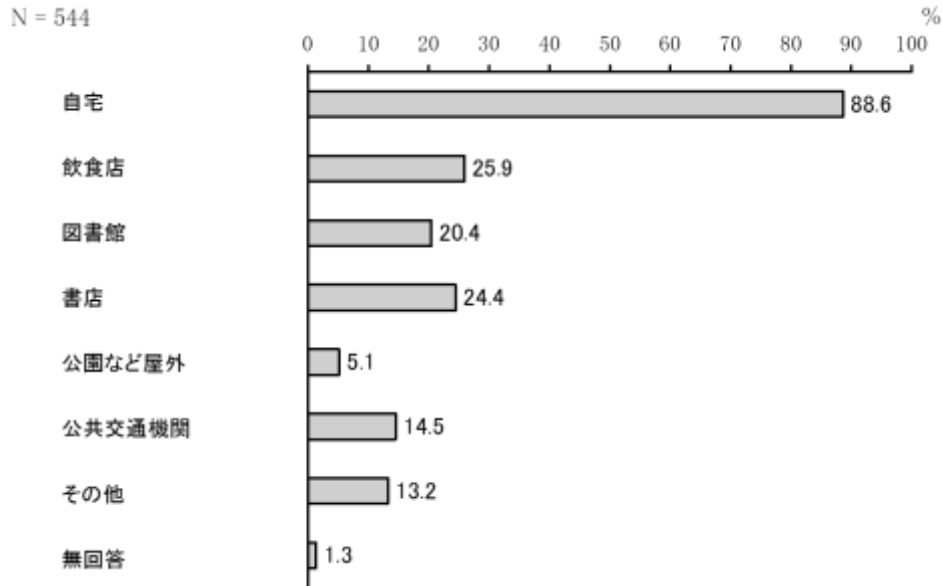
**問9. 日頃、本や雑誌をどのくらい読みますか？**

「月に2～4冊」の割合が32.2%と最も高く、次いで「月に1冊」の割合が27.0%、「ほとんど読まない」の割合が17.1%となっています。



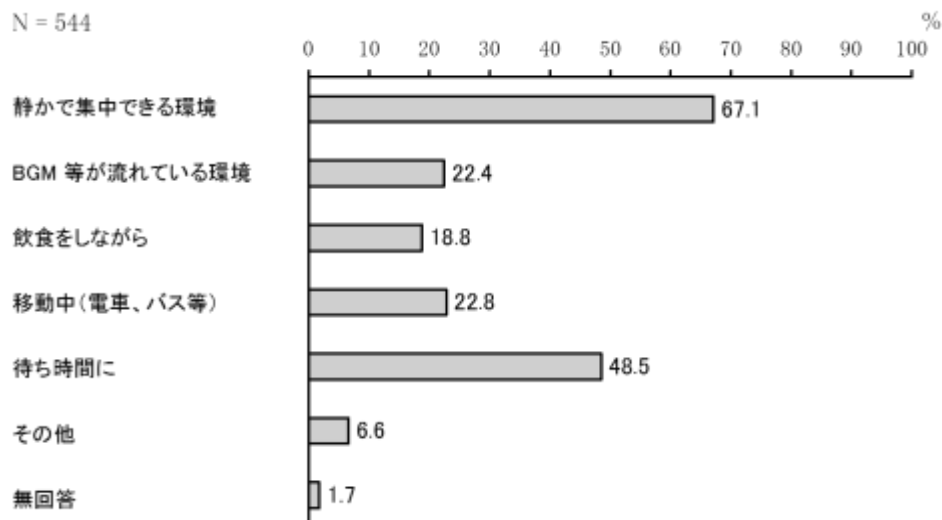
問 10. 本や雑誌は主にどこで読んでいますか？または、読みたいですか？（3つまで選択してください。）

「自宅」の割合が 88.6%と最も高く、次いで「飲食店」の割合が 25.9%、「書店」の割合が 24.4%となっています。



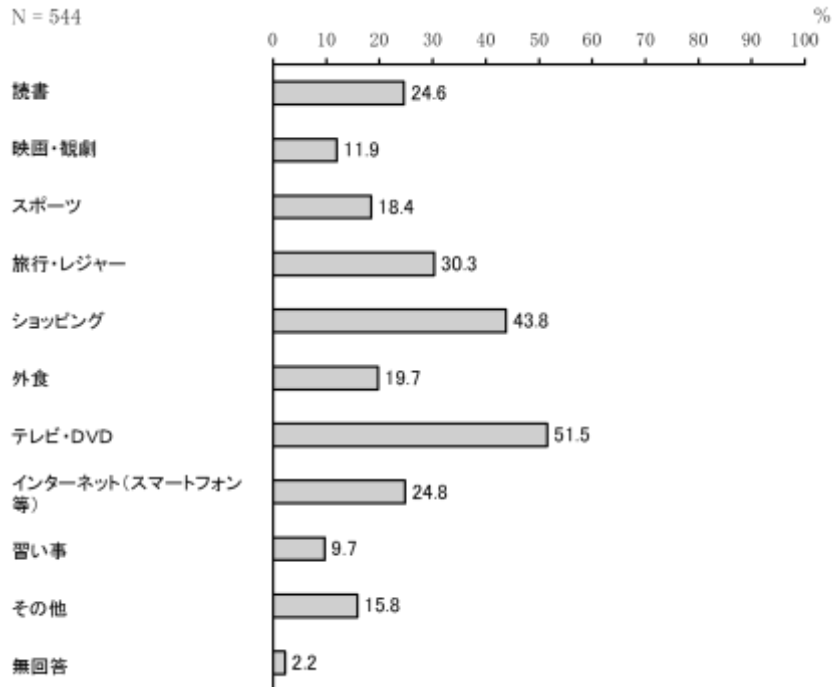
問 11. 主にどんな環境で本を読んでいますか？（3つまで選択してください。）

「静かで集中できる環境」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「待ち時間に」の割合が 48.5%、「移動中（電車、バス等）」の割合が 22.8%となっています。



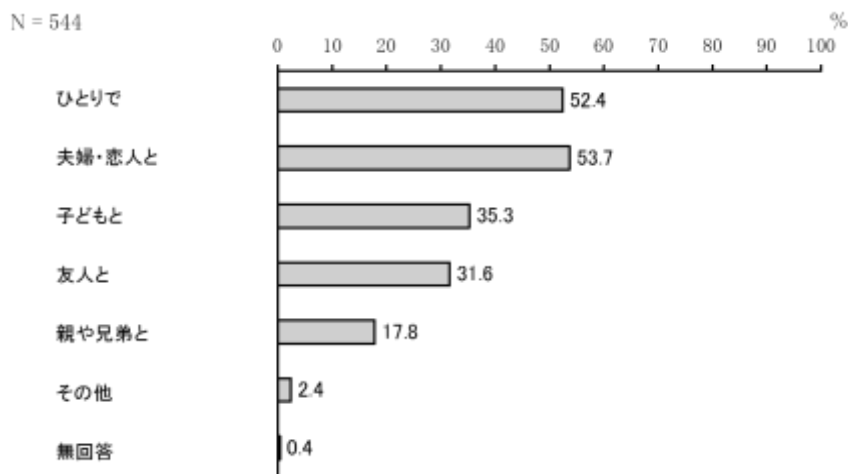
問 12. 休日、余暇はどんなことをして過ごしていますか？（3つまで選択してください。）

「テレビ・DVD」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「ショッピング」の割合が 43.8%、「旅行・レジャー」の割合が 30.3%となっています。



問 13. 休日・余暇の過ごし方について誰と過ごすことが多いですか？（該当するものすべてを選択してください。）

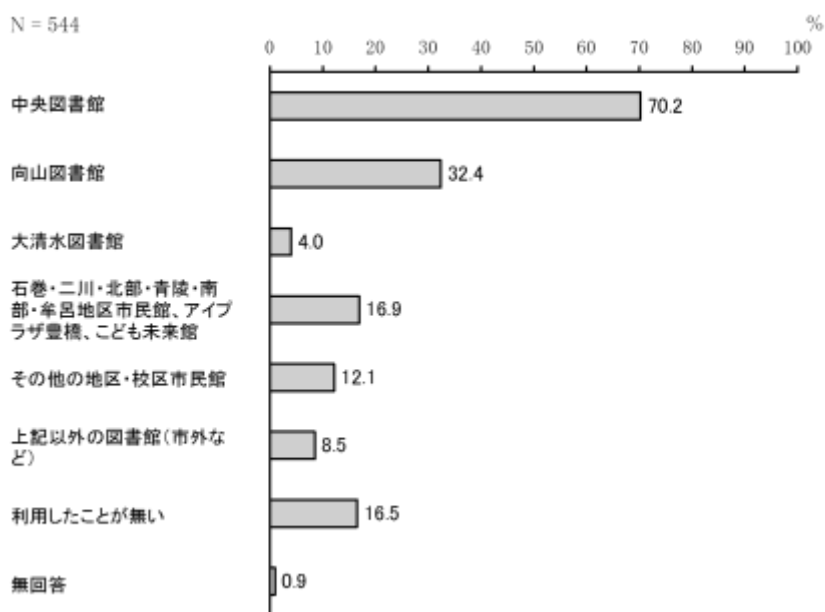
「夫婦・恋人と」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「ひとりで」の割合が 52.4%、「子どもと」の割合が 35.3%となっています。



## (2) 図書館利用について

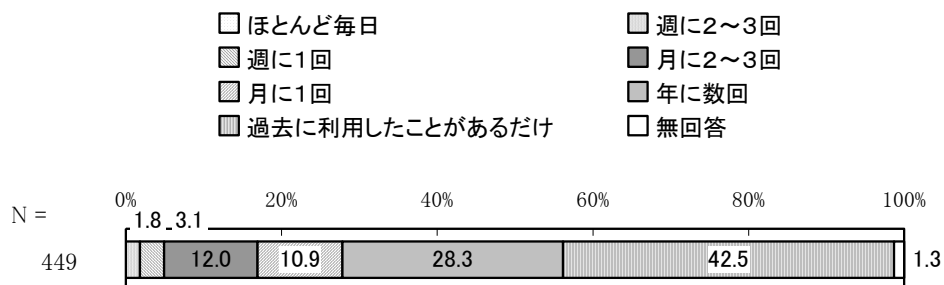
問 14. 本市の図書館は中央図書館、向山図書館（旧配本センター）、大清水図書館のほか、市民館等の図書分室で成り立っています。あなたは、どこを利用したことがありますか？（該当するものすべてを選択してください。）

「中央図書館」の割合が70.2%と最も高く、次いで「向山図書館」の割合が32.4%、「石巻・二川・北部・青陵・南部・牟呂地区市民館、アイプラザ豊橋、こども未来館」の割合が16.9%となっています。



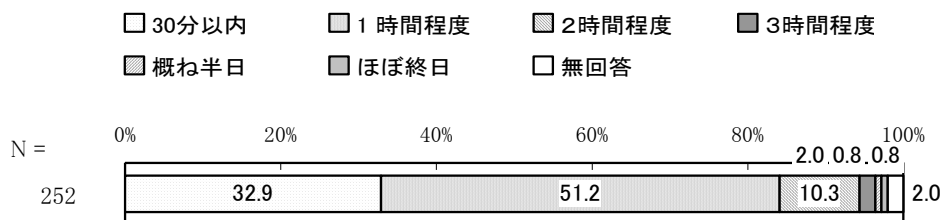
問 15. 図書館を、どの程度利用していますか？

「過去に利用したことがあるだけ」の割合が42.5%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が28.3%、「月に2～3回」の割合が12.0%となっています。



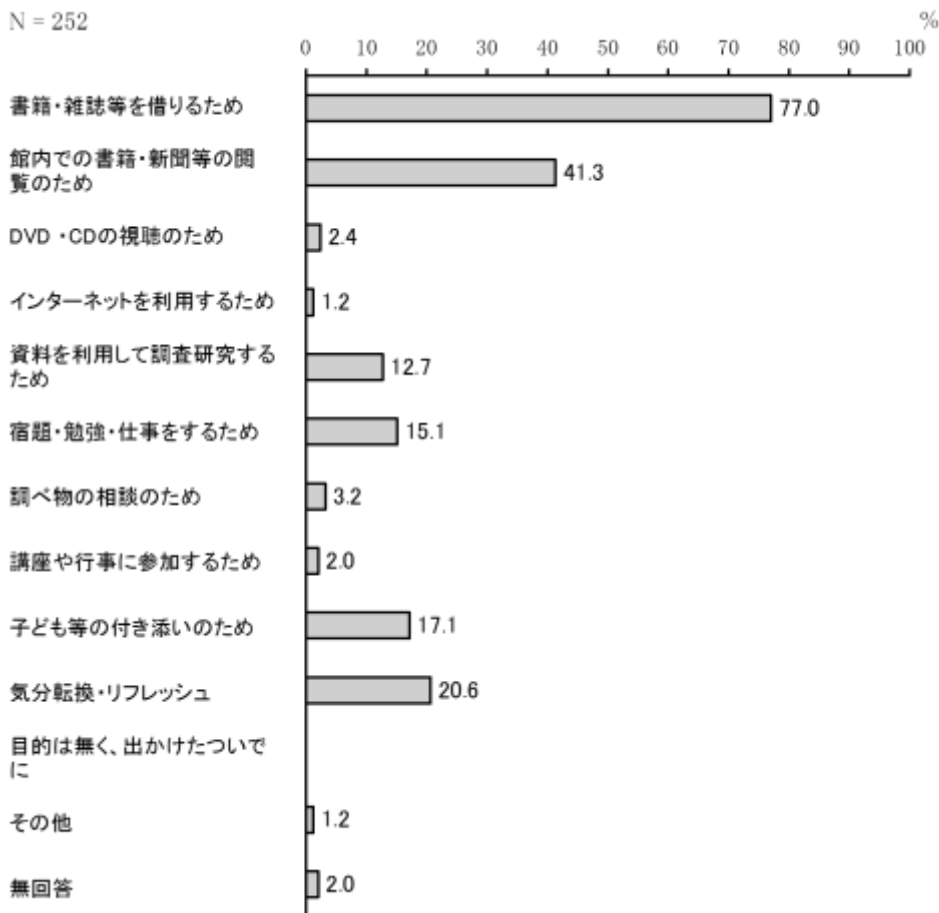
問 16. 通常、館内で過ごされる時間はどれくらいですか？

「1 時間程度」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「30 分以内」の割合が 32.9%、「2 時間程度」の割合が 10.3%となっています。



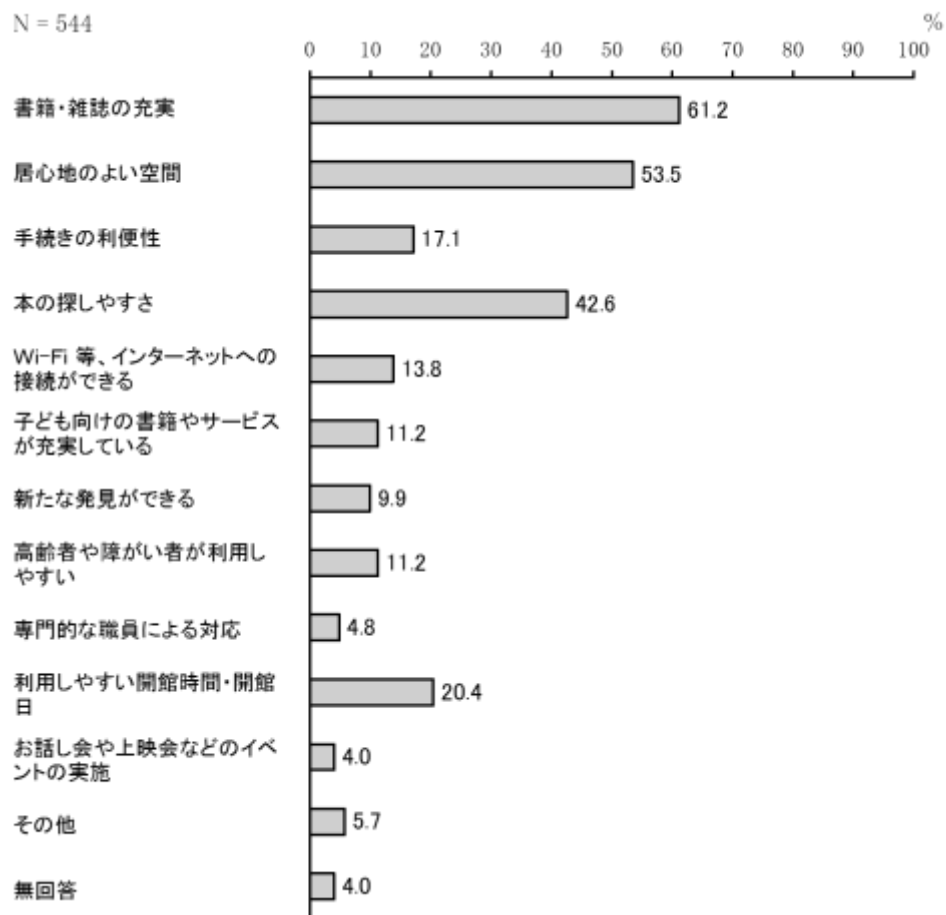
問 17. 図書館を利用する際の目的は何ですか？（3つまで選択してください。）

「書籍・雑誌等を借りるため」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「館内での書籍・新聞等の閲覧のため」の割合が 41.3%、「気分転換・リフレッシュ」の割合が 20.6%となっています。



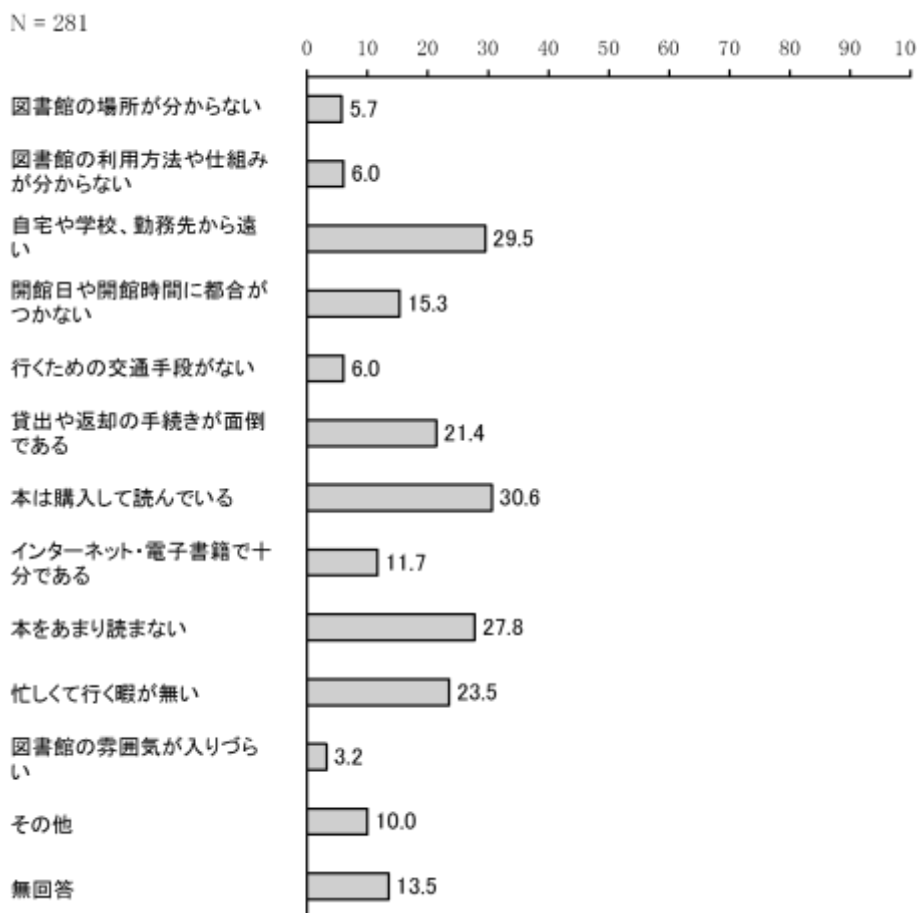
問 18. 図書館を利用する上で、あるいは利用するとしたら、望む点は何ですか？（3つまで選択してください。）

「書籍・雑誌の充実」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「居心地のよい空間」の割合が 53.5%、「本の探しやすさ」の割合が 42.6%となっています。



問 19. 問 14. で「図書館を利用したことが無い」と回答した方、同じく、問 15. で「過去に利用したことがあるだけ」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？（3つまで選択してください。）

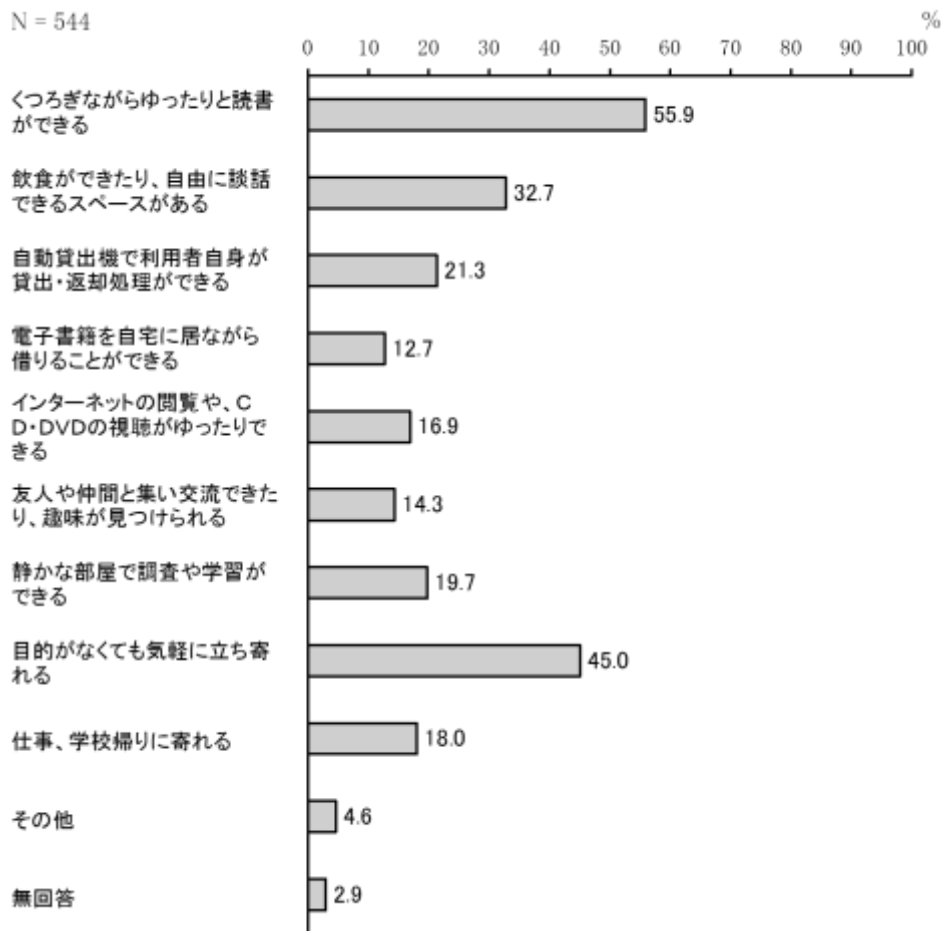
「本は購入して読んでいる」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「自宅や学校、勤務先から遠い」の割合が 29.5%、「本をあまり読まない」の割合が 27.8%となっています。



### (3) これからの図書館に期待すること

問 20. 近年、居心地のよい図書館や、人と人が交流できる図書館、飲食が可能な図書館など新たな魅力を持った図書館が注目されていますが、これからの図書館ではどのようなことができるかと思いませんか？（3つまで選択してください。）

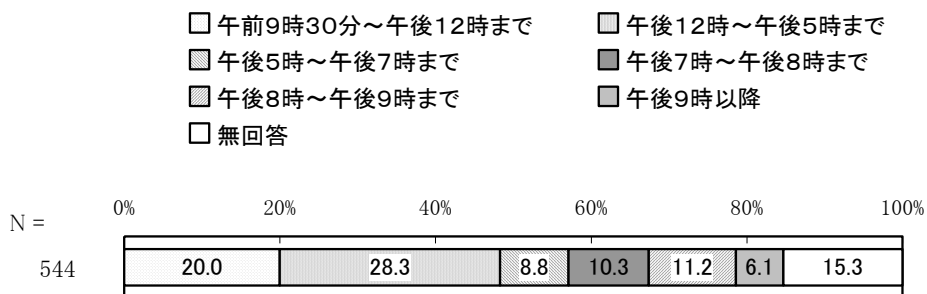
「くつろぎながらゆったりと読書ができる」の割合が55.9%と最も高く、次いで「目的がなくても気軽に立ち寄れる」の割合が45.0%、「飲食ができたり、自由に談話できるスペースがある」の割合が32.7%となっています。





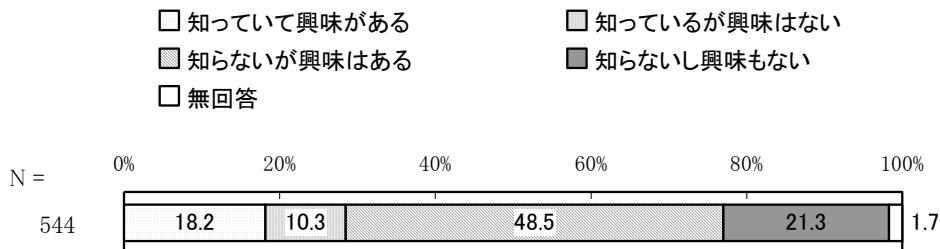
問 21. 現在の中央図書館の開館時間は、平日は午前9時30分から午後7時まで、土・日・祝日は午前9時30分から午後5時までです。都心では夜遅くまで開館している図書館もありますが、あなたが図書館を利用したい時間帯はいつですか？

「午後12時～午後5時まで」の割合が28.3%と最も高く、次いで「午前9時30分～午後12時まで」の割合が20.0%、「午後8時～午後9時まで」の割合が11.2%となっています。



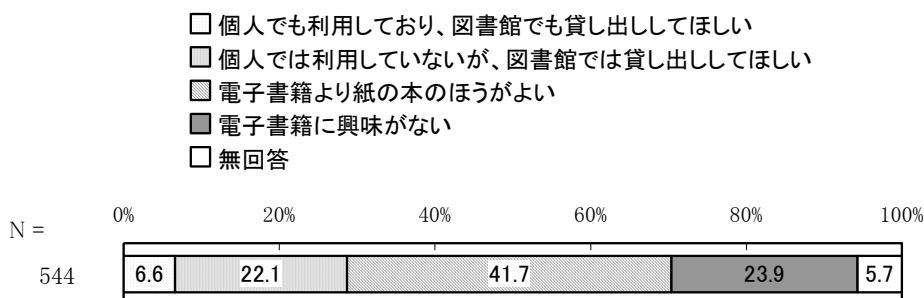
問 22. 現在、豊橋駅東口地域に建設予定の再開発ビル内に、まちなか図書館（仮称）を導入する計画をしていますが、まちなか図書館（仮称）のことを知っていますか？

「知らないが興味はある」の割合が48.5%と最も高く、次いで「知らないし興味もない」の割合が21.3%、「知っていて興味がある」の割合が18.2%となっています。



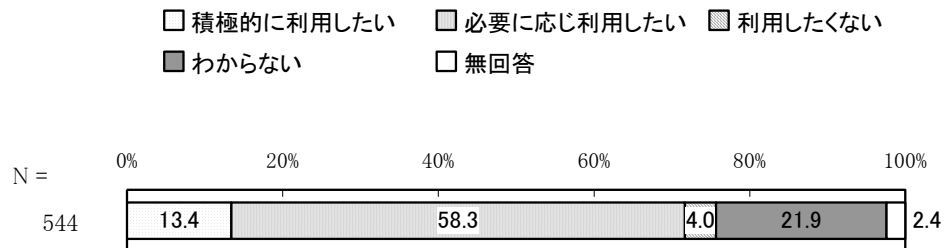
問 23. 近年、書籍や出版物の情報を電子化し、パソコン等で閲覧ができる電子書籍が目立っています。電子書籍についてお伺いします。

「電子書籍より紙の本のほうがよい」の割合が41.7%と最も高く、次いで「電子書籍に興味がない」の割合が23.9%、「個人では利用していないが、図書館では貸し出ししてほしい」の割合が22.1%となっています。



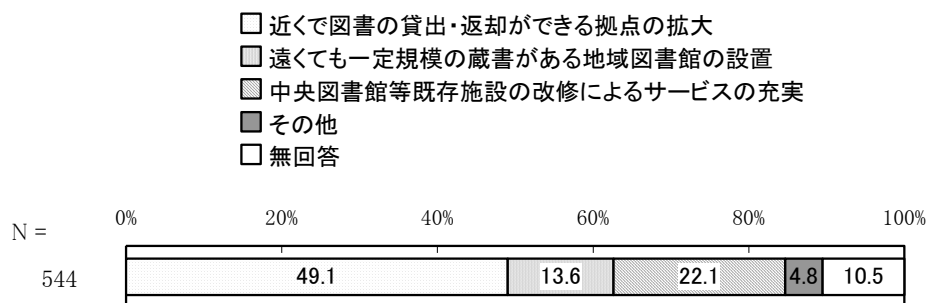
問 24. 他市図書館では、新しい図書館の建設や図書館システムの更新に合わせて自動貸出機を導入する事例が多く見受けられ、豊橋市でも自動貸出機の導入を検討しています。自動貸出機の利用についてお伺いします。

「必要に応じ利用したい」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.9%、「積極的に利用したい」の割合が 13.4%となっています。



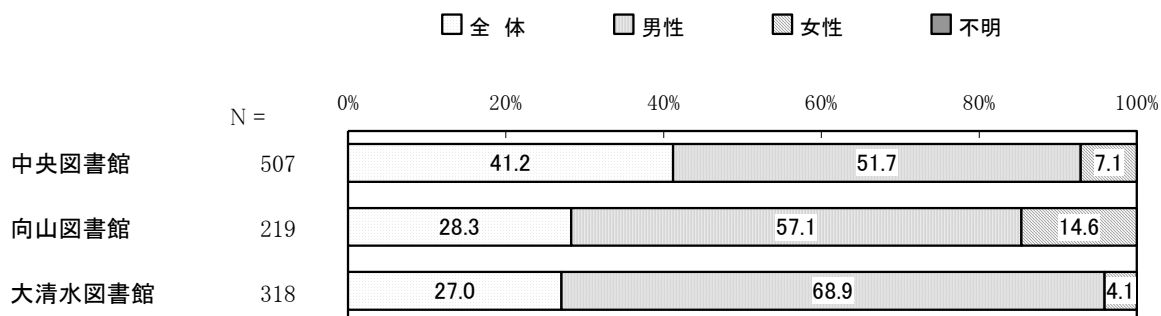
問 25. 限られた経費の中で重点的に実施すべき今後の図書館サービスについてお聞きします。

「近くで図書の貸出・返却ができる拠点の拡大」の割合が 49.1%と最も高く、次いで「中央図書館等既存施設の改修によるサービスの充実」の割合が 22.1%、「遠くても一定規模の蔵書がある地域図書館の設置」の割合が 13.6%となっています。

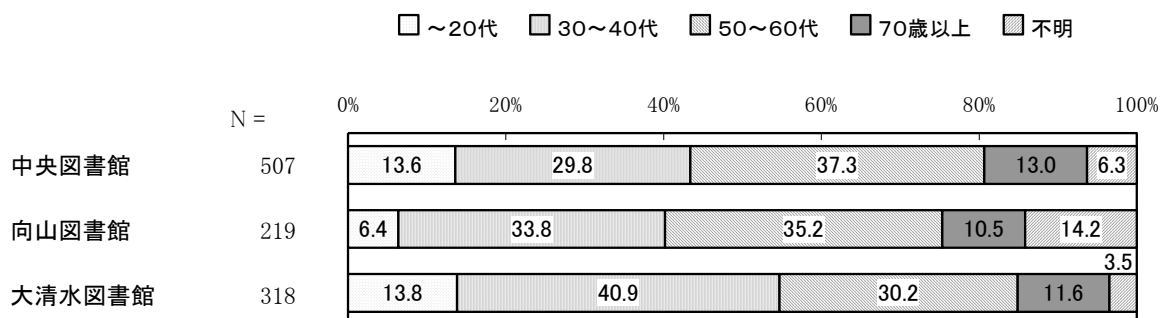


### 3 図書館利用者アンケート調査結果

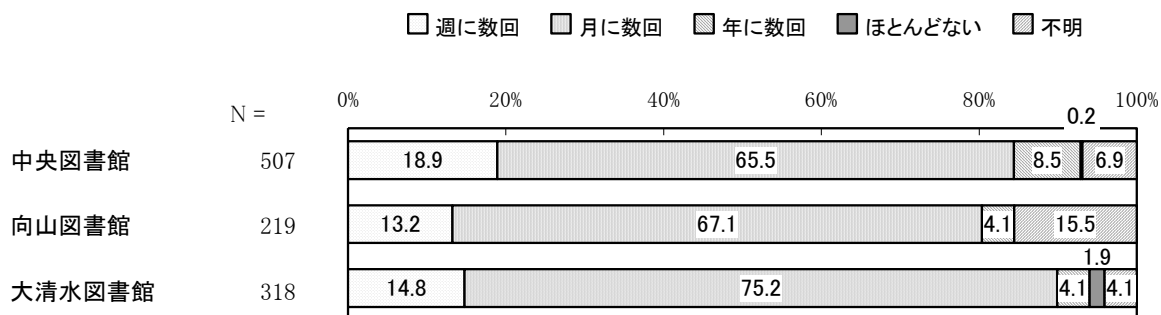
#### 性別



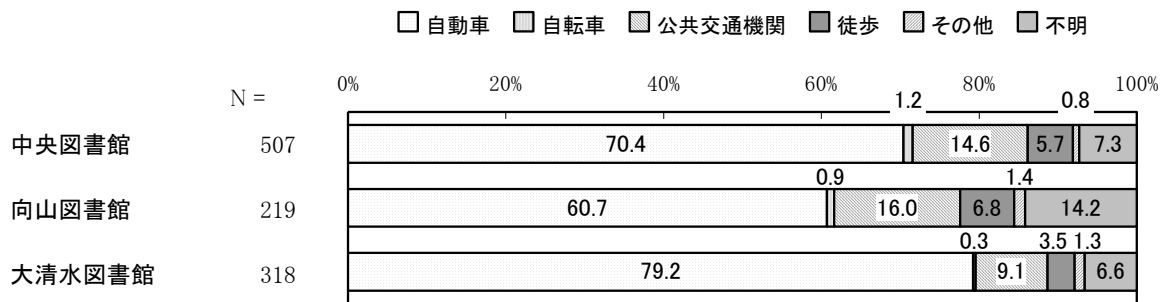
#### 年齢



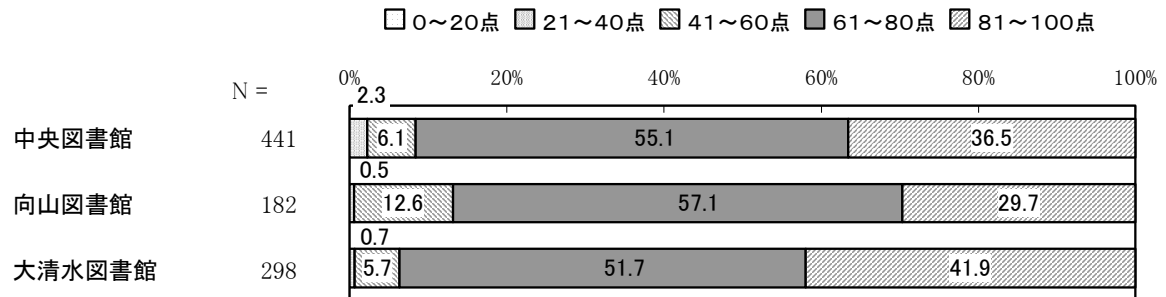
#### 利用頻度



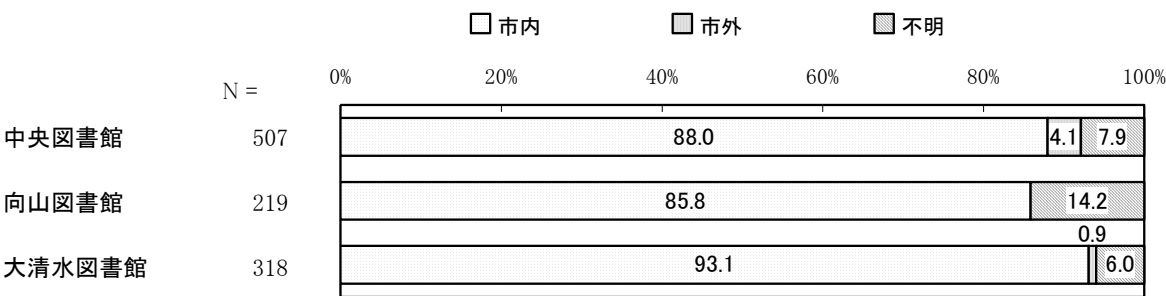
交通手段



満足度



居住地域



校区別

単位：%

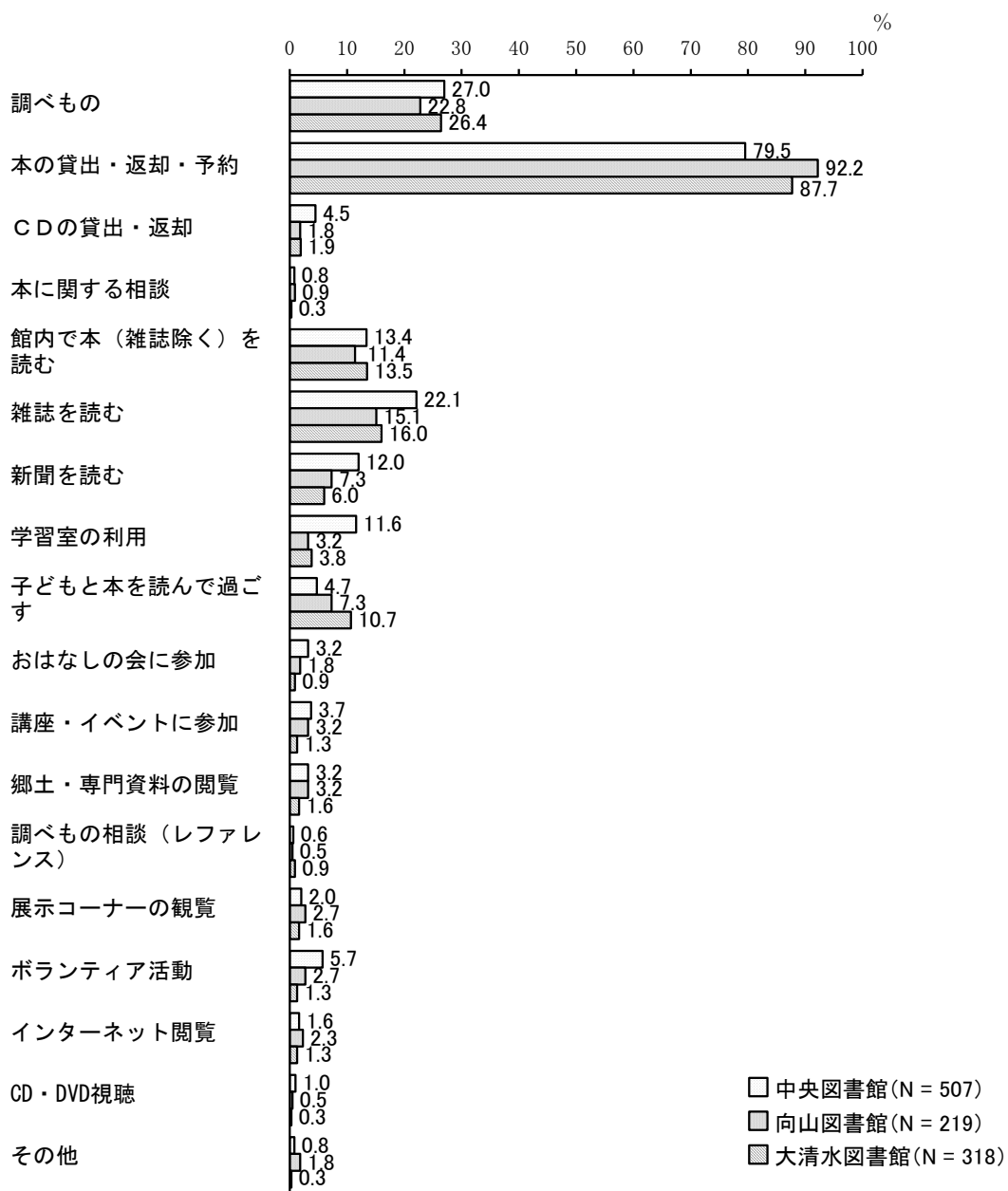
区分	有効回答数 (件)	羽根井	栄	福岡	花田	吉田方	中野	汐田	幸	牟呂	高師	磯辺	芦原
中央図書館	324	10.2	7.7	6.5	5.2	11.1	1.5	2.5	6.2	6.8	3.4	2.5	1.9
向山図書館	135	—	2.2	1.5	—	—	0.7	0.7	3.0	—	—	—	—
大清水図書館	212	0.5	3.3	0.5	—	—	0.9	—	0.5	0.5	6.6	0.9	6.6

区分	松葉	二川	多米	八町	東田	前芝	新川	松山	豊	石巻	つつしが丘	野依	飯村
中央図書館	3.1	2.2	0.9	1.9	0.9	1.5	1.5	1.5	1.9	0.3	2.8	—	2.8
向山図書館	1.5	1.5	4.4	2.2	11.9	—	5.9	0.7	5.9	1.5	5.2	—	3.7
大清水図書館	—	0.9	0.5	—	—	0.5	—	—	0.5	—	1.4	14.2	1.9

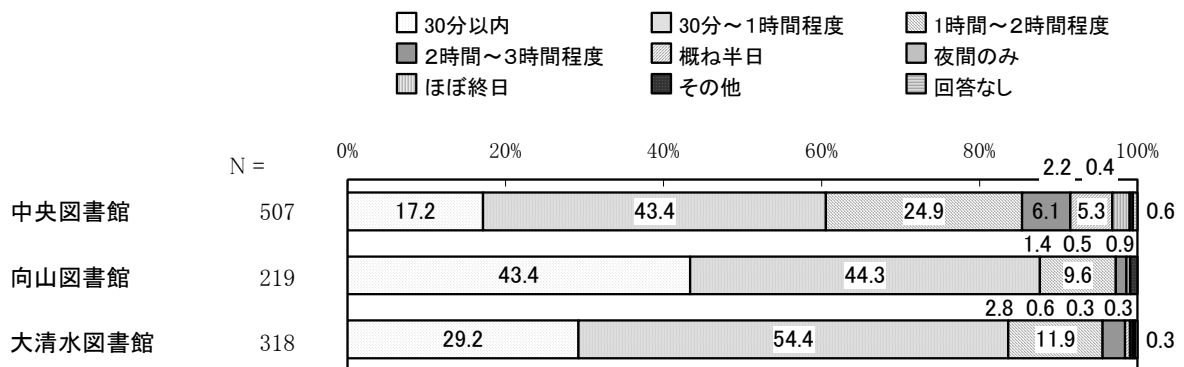
区分	津田	鷹丘	向山	下地	老津	富士見	二川南	天伯	高根	岩田	岩西	大清水	牛川
中央図書館	0.9	1.5	1.9	0.6	0.3	—	0.3	0.6	—	3.7	—	0.6	0.3
向山図書館	—	3.7	8.9	—	—	—	0.7	0.7	—	16.3	3.0	—	6.7
大清水図書館	—	0.9	0.5	—	2.4	17.0	0.5	1.4	0.5	0.5	0.9	16.5	—

区分	大崎	杉山	植田	下条	旭
中央図書館	—	—	0.9	0.3	1.2
向山図書館	—	—	—	—	7.4
大清水図書館	2.8	2.8	13.2	—	—

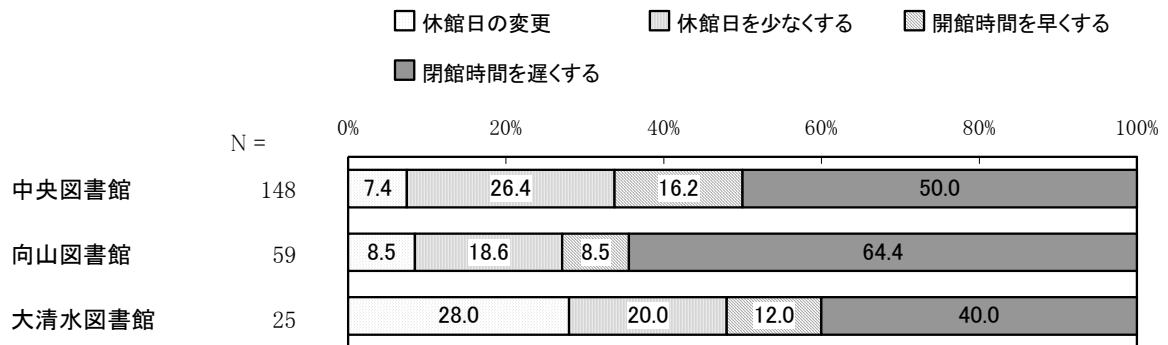
# 問1 図書館を利用される主な目的について



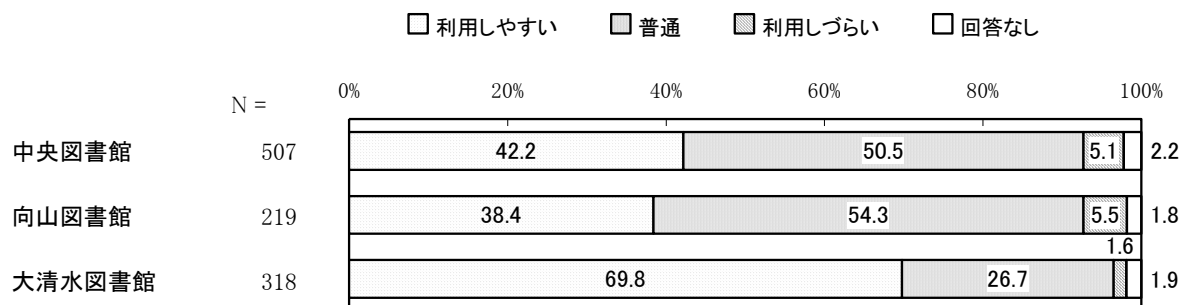
問2 通常、館内で過ごされる時間について



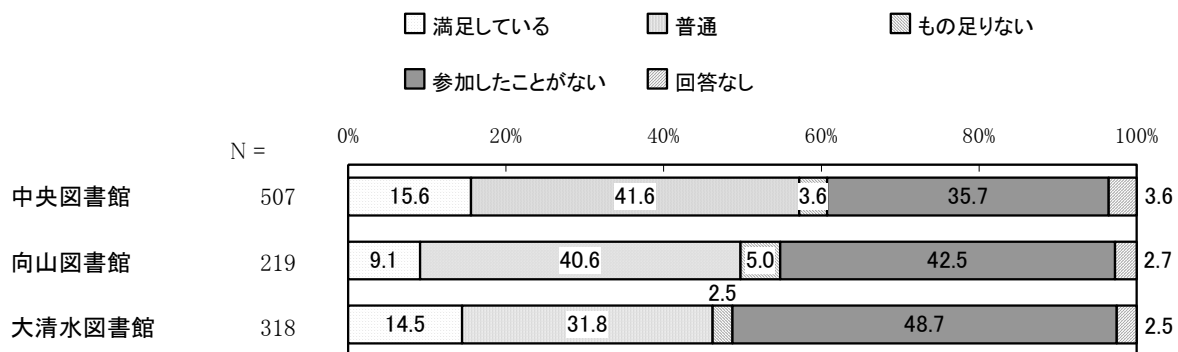
【良い評価をいただくために何が必要か】



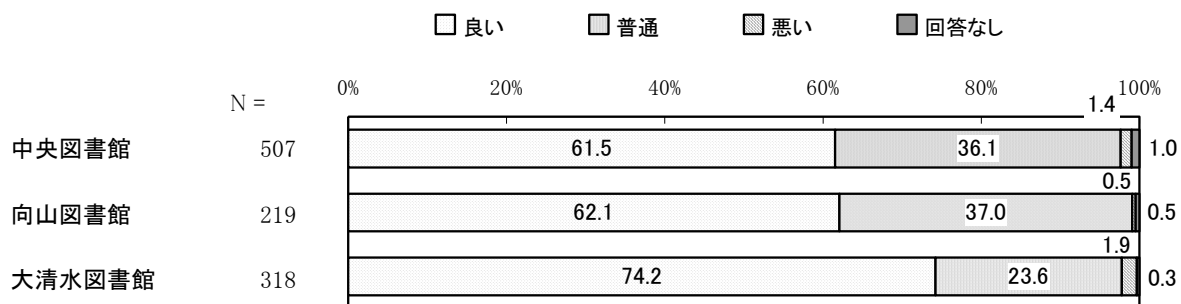
問3 開館日（曜日）や開館時間について



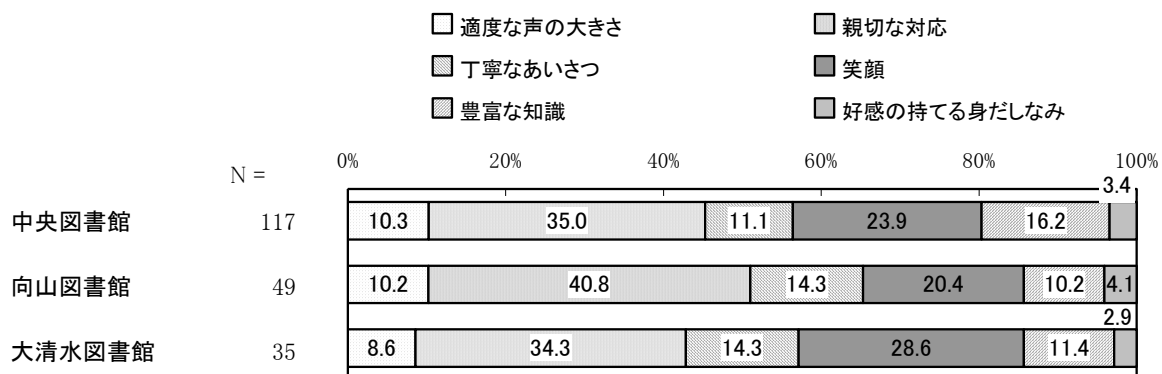
問4 講座・イベントなど図書館事業について



問5 職員の対応・マナー・説明はいかがでしたか

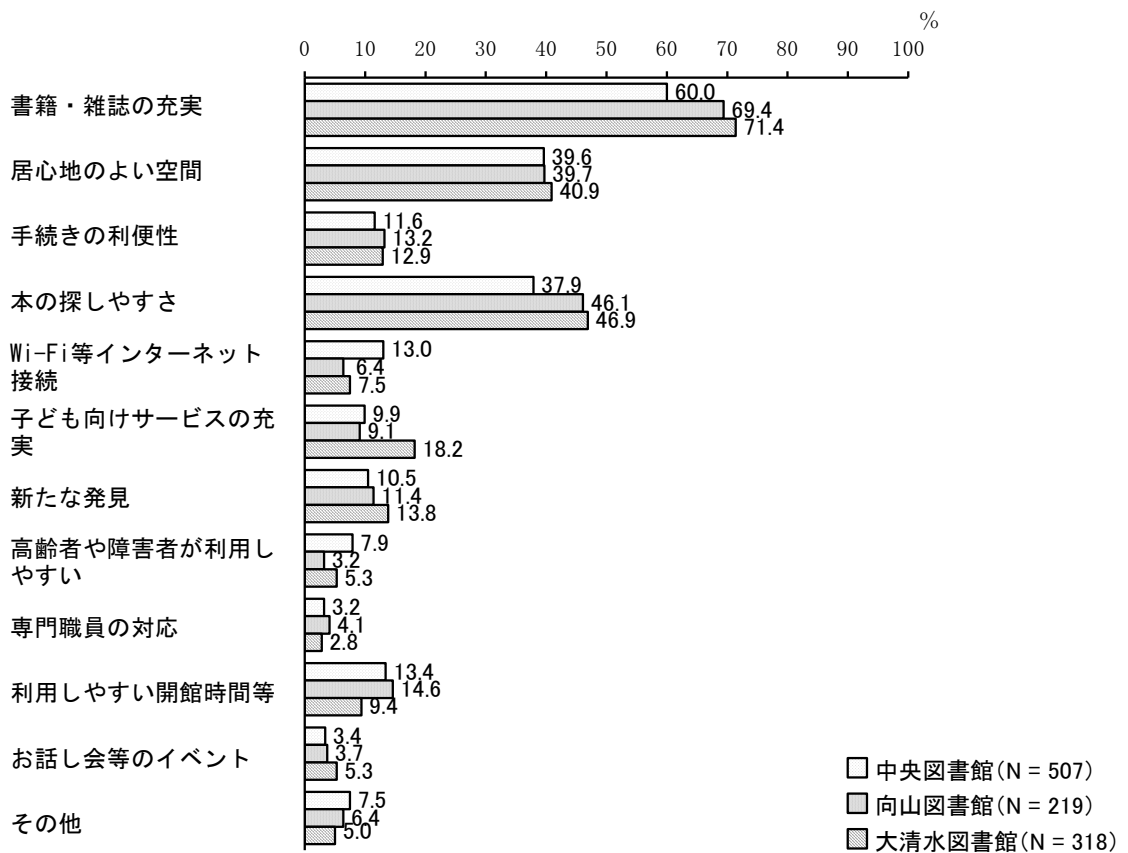


【良い評価をいただくために何が必要か】



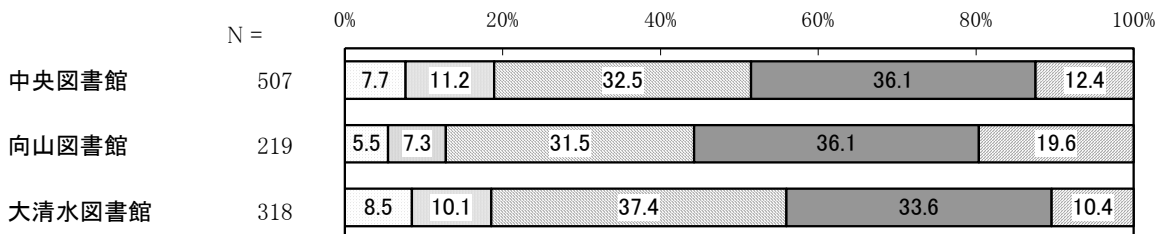


問6 図書館を利用する上で、望む点について

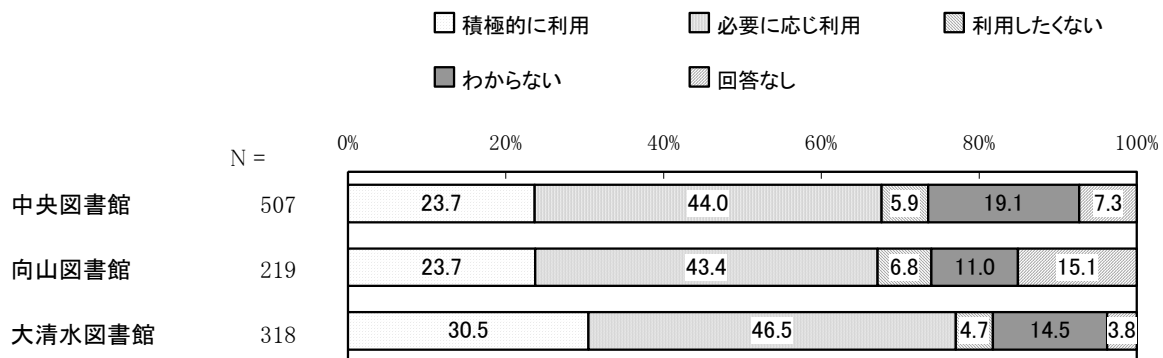


問7 電子書籍について

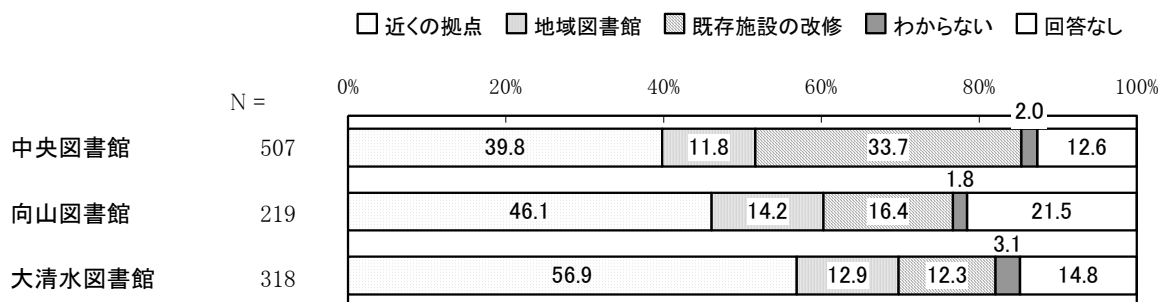
- 個人でも利用し図書館でも利用したい
- 個人では利用していないが図書館では利用したい
- 電子より紙の本が良い
- 電子書籍に興味がない
- 回答なし



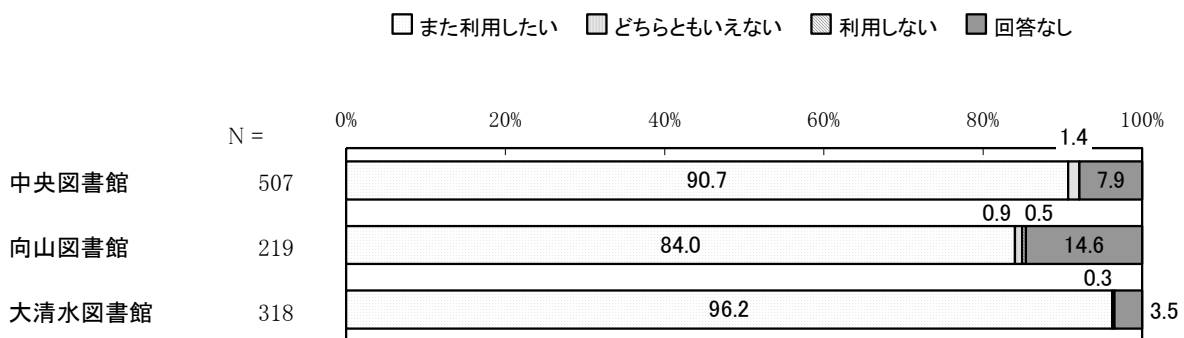
### 問 8 自動貸出機について



### 問 9 重点的に実施すべき図書館サービスについて



### 問 10 またお越しいただけますか



## 「豊橋市図書館協議会」協議経過

年 月 日	経 過
平成 26 年 12 月 19 日	平成 26 年度 第 3 回豊橋市図書館協議会 ○「豊橋市図書館整備構想」の見直しについて ・概要について説明
平成 27 年 5 月 29 日	平成 27 年度 第 1 回豊橋市図書館協議会 ○「豊橋市図書館の基本的な考え方」の趣旨について ・方向性及びスケジュールの説明
平成 27 年 8 月 4 日	平成 27 年度 第 2 回豊橋市図書館協議会 ○「豊橋市図書館の基本的な考え方」(骨子)について ・図書館を取り巻く状況 ・取組みの成果と課題 ・市民アンケート調査結果 ・めざす図書館像
平成 27 年 8 月 27 日	教育委員会 定例会 ○「豊橋市図書館の基本的な考え方」(骨子)について
平成 27 年 10 月 2 日	平成 27 年度 第 3 回豊橋市図書館協議会 ○「豊橋市図書館の基本的な考え方」(骨子)について ・図書館のめざす姿に向けた取組み
平成 27 年 11 月 20 日	平成 27 年度 第 4 回豊橋市図書館協議会 ○「豊橋市図書館の基本的な考え方」(素案)について ・素案の内容について意見聴取

## 豊橋市図書館協議会委員名簿

任期：平成27年2月27日～平成29年2月26日（第17期）

役職	氏名	職業等	選出区分 条例14条
会長	島田 大助	豊橋創造大学教授	学識経験者
副会長	地宗 一郎	元豊橋市図書館長	学識経験者
委員	伊津野 泰子	前社会教育審議会委員	社会教育関係者
委員	杉浦 由美	赤ちゃん絵本ボランティアの会	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	古関 智子	豊橋市立東田小学校教諭 図書館指導員	学校教育関係者
委員	浅沼 千恵子	青陵地区市民館主事	社会教育関係者
委員	大貝 彰	豊橋技術科学大学教授 大学附属図書館長	学識経験者
委員	兼子 知子	豊橋市立大崎小学校 学校図書館研究部顧問	学校教育関係者
委員	荒川 清秀	愛知大学教授 愛知大学豊橋図書館長	学識経験者
委員	今神 仁美	(社福)豊橋市南部保育事業会 東山保育園園長	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	酒井 敏子	豊橋の民話を語りつぐ会	社会教育関係者
委員	丸山 敬彦	愛知県立豊橋南高校教諭 図書部主任	学校教育関係者

## 【用語説明】

### 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、公共図書館等にデジタル画像を配信して閲覧ができるようになるサービスのこと。資料には図書、古典籍、雑誌、博士論文があり、平成 27 年 7 月現在で、約 137 万点の資料が利用できる。

### 図書館サービスのハイブリッド化

書籍・雑誌を中心とする従来型の図書館サービスと、電子情報を提供する電子図書館の機能とを兼ね備えた図書館サービスを拡充すること。紙媒体と電子媒体を組み合わせることにより、図書館サービスの効率化を図るとともに、利用者の利便性向上を図ることができる。

### ICT

「Information and Communication Technology」（情報通信技術）の略で、情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称。

### 障害者差別解消法

平成 28 年 4 月 1 日に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の通称で、障害者基本法の基本理念に沿って、障害を理由とする差別を解消するための措置について定めた法律。障害のある人に対する不当な差別的取扱いを禁止し、行政機関に対して合理的配慮の提供を義務づけており、図書館においても障害者に配慮した設備やサービスの充実が求められている。

### デジタルアーカイブ

図書館・博物館・美術館や公文書館の収蔵品を始め有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行うこと。デジタル化することによって、文化資源等の修復・公開や、ネットワーク等を通じた利用も容易となる。公共図書館もまた潜在利用者への広報を主な目的として、デジタルアーカイブの公開に着手することが求められている。

## レファレンスサービス

図書館利用者が、調査・研究等に必要な資料及び情報を求めたとき、図書資料の検索を援助し、資料を提供し、または回答を与えること。

## 授業・学習支援センター

豊橋市で子どもの調べ学習や知る喜び、学ぶ楽しさを伝える教師の授業づくりを支援する機能のこと。学校の要請に基づき、図書資料の選書、学校図書館への提供及び必要に応じて指導・助言を行う。

平成 18 年度に開始した豊橋市学校図書館支援センターが、平成 21 年度より授業・学習支援センターとして活動している。

豊橋市図書館の基本的な考え方

発行日 平成28年3月  
編集・発行 豊橋市教育委員会 教育部図書館  
〒441-8025 豊橋市羽根井町48番地  
電話 0532-31-3131  
FAX 0532-31-4254  
<http://www.library.toyohashi.aichi.jp>

図書館は知識と文化の宝庫

